令和５年度

名古屋大学
入学者選抜要項

この「入学者選抜要項」は、名古屋大学における令和５年度入学者選抜の概要を紹介するものです。

出願にあたっては、本学ホームページ「受験生応援サイト」の〔入試情報を知りたい〕より、以下に該当する「募集要項」をダウンロードし、必ず、出願方法や締切日などを確認してください。（募集要項は冊子での発行、配付は行いません）

「令和５年度 名古屋大学文学部 学校推薦型選抜学生募集要項」（令和４年７月中旬公表予定）
「2023年度 私費外国人留学生学生募集要項」（令和４年９月下旬公表予定）
「令和５年度 一般選抜学生募集要項」（令和４年11月下旬公表予定）
「令和５年度 学校推薦型選抜学生募集要項」（令和４年11月下旬公表予定）

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、試験日程や試験方法等を変更する可能性があります。変更する場合は、下記の〔入試に関するお知らせ／NEWS〕で随時公表しますので、最新の情報をこまめに確認するようにしてください。

▶名古屋大学 受験生応援サイト https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/
▷入試に関するお知らせ／NEWS
https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/
▷入試情報を知りたい
https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構
名古屋大学

名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

1．研究と教育の基本目標

⑴　名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。

⑵　名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

2. 社会的貢献の基本目標

⑴　名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。

⑵　名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。

⑶　名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

3．研究教育体制の基本方針

⑴　名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。

⑵　名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。

⑶　名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

4．大学運営の基本方針

⑴　名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。

⑵　名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。

⑶　名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

目　　次

名古屋大学の教育を支える３つの方針 …… 2

Ⅰ　各学部のアドミッション・ポリシー …… 4

文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、工学部、農学部

Ⅱ　学校推薦型選抜における各学科・専攻が求める人物像 …… 15

情報学部、医学部保健学科、工学部、農学部

Ⅲ　募集人員 …… 18

Ⅳ　一般選抜

1．選抜日程 …… 19
2．出願資格 …… 20
3．選抜方法等［前期日程］ …… 21
［後期日程］、〈参考〉選抜方法等一覧 …… 22
4．医学部医学科の前期日程（地域枠）について …… 23
5．一般選抜の実施教科・科目等 …… 24
6．個別学力検査実施教科・科目の出題方針 …… 29
7．個別学力検査等の試験時間 …… 32

Ⅴ　学校推薦型選抜

1．選抜日程 …… 33
2．選抜方法の概要 …… 34
3．大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（文学部） …… 35
4．大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（文学部以外） …… 36

Ⅵ　その他の選抜

1．私費外国人留学生入試 …… 45
2．国際プログラム群学部学生入試（10月入学） …… 49

Ⅶ　出願にあたっての留意事項

1．併願等 …… 50
2．高等学校等の進路指導ご担当の方々へ（調査書、推薦書） …… 50
3．受験上の配慮を必要とする入学志願者へ …… 50

Ⅷ　令和７年度以降の入学者選抜方法について …… 51

〔参考〕

1．募集要項の公表時期 …… 52
2．大学案内及び学部紹介冊子の請求方法 …… 52
3．令和４年度 名古屋大学入学試験 志願者・受験者・合格者数及び志願倍率一覧 …… 53
4．令和４年度 名古屋大学入学試験 合格者成績 …… 54
5．令和５年度（2023年度）学部入学試験 主要日程 …… 55

〔照会先〕 …… 裏表紙

名古屋大学の教育を支える３つの方針

■名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「**学術憲章**」（2000年制定）で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り６名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれることのない自由闊達な学風の下、多数の進取の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「**勇気ある知識人**」を育成する人間像として示しています。

「勇気ある知識人」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇気と知性をもち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「勇気ある知識人」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって育成しています。

■３つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、②教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、③入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）という３つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修了生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら３つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、３つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた３つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

各学部の教育を支える3つの方針

01 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

名古屋大学は、各学部の教育目標と基準に沿った資質･能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇気と知性をもち、未来を切り拓いていく「勇気ある知識人」として、それぞれの学術分野で、十分な知識･技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

02 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

03 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

名古屋大学は、未来の「勇気ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「勇気ある知識人」の育成を目指しています。「勇気ある知識人」として必要な資質･能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身に付けた土台の上に立ってこそ、勇気ある知識人への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせた入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

Ⅰ　各学部のアドミッション・ポリシー

文 学 部

（1）入学者受入れの方針

文学部では、養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力を備え、人間の営為としての言語・文化・歴史に深い関心を持ち、社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考えることに意欲がある人」を入学者として選抜します。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、調査書、大学入学共通テストの成績および個別学力検査の成績を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は大学入学共通テスト、個別学力検査で判定します。個別学力検査においては、論理的な思考力も人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力の一部であることから、国語、地歴、外国語に加えて、数学を課しています。「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、調査書を含めて総合的に判定します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

文学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れた者を対象として、アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、調査書、志願理由書等の提出書類、小論文の成績および面接の結果を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は提出書類および面接によって判定します。「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、提出書類、小論文、面接によって総合的に判定します。なお、出願の際は、外国語の能力を示すスコアや国際バカロレアのスコア、SSH、SGH における活動状況等に関する書類を提出することができます。

○私費外国人留学生入試

アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、提出書類、小論文の成績および面接の結果を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は提出書類および面接によって判定します。「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、提出書類、小論文、面接によって総合的に判定します。

○国際プログラム群入試

「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」、「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」及び「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」を、提出書類および面接の結果から総合的に判断し選抜を行います。

教 育 学 部

（1）入学者受入れの方針

本学部は、人間の成長発達と教育をめぐるさまざまな問題を研究の対象とする教育発達科学の知見と方法を総合的に学ぶことによって、論理的・批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力を有し、省察と探究の習慣を自ら育むことができ、人間と社会の諸問題に絶えず関心をよせ、勇気と熱意をもって向き合い、問題解決に協働的に取り組むことのできる人材、さらには、社会的正義の感覚を有し人類と社会の調和的発展とウェルビーイングに貢献できる人材の育成を目的としています。

上記の目的を理解したうえで本学部への進学を志望する者には、次のような能力や資質が求められます。

1）人間発達科学を学ぶための基礎的学力

2）人間の成長発達と教育をめぐる多様な事象と問題に対する関心と問題意識

3）人間と社会の諸問題に対して深い関心をもち、教育と発達および社会的正義の視点から探究し、問題解決を志向し、人類と社会の調和的発展に貢献しようという意欲と熱意

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

人間発達科学を学ぶための基礎的学力を評価するため、大学入学共通テストと個別学力検査（国語、数学、外国語）により選抜を実施します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

人間発達科学を学ぶための基礎的学力を評価するため大学入学共通テストを課すとともに、人間の成長発達と教育をめぐる多様な事象と問題に対する関心と問題意識、さらには人間と社会の諸問題について教育と発達および社会的正義の視点から探究し、問題解決を志向し、人類と社会の調和的発展に貢献しようという意欲と熱意を評価するため、提出書類と「小論文」、面接の総合評価により選抜を実施します。

○私費外国人留学生入試

多様な文化的社会的バックグラウンドをもつ国内外の外国人留学生に対して、本学部での学習に必要な日本語能力、人間発達科学を学ぶための基礎的学力を評価するため日本留学試験（日本語、総合科学、数学コースⅠ）を課すとともに、上記の能力・学力に加え、人間の成長発展と教育をめぐる多様な事象と問題に対する関心と問題意識、さらには人間と社会の諸問題について教育と発達および社会的正義の視点から探究し、問題解決を志向し、人類と社会の調和的発展に貢献しようという意欲と熱意を評価するため、提出書類と個別学力検査（小論文ならびに面接）の総合評価により選抜を実施します。

法 学 部

（1）入学者受入れの方針

法学部は、社会のルールの学としての法律学・政治学を学ぶことを通じて、大局的見地に立って的確な価値判断・意思決定を行い、グローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与し、未来を切り拓いていくことを目指し、かつ、そのために必要となる資質や能力を備えた人を、国内外に求めます。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

幅広い基礎学力を大学入学共通テスト（5または6教科8科目、900点）により評価するとともに、これまでに身につけた基礎学力を活用する能力を個別学力検査（3科目、600点）により評価します。個別学力検査では、とりわけ法律学を学ぶ上で重要となる論理的思考を発展させるために必要な学力を数学（200点）により、また、グローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与するために必要な意欲や能力を、外国語（200点）および高等学校の地理歴史、公民の学習を前提とする小論文（200点）により評価します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を大学入学共通テスト（5または6教科8科目）や調査書等により評価するとともに、これまでに身につけた基礎学力を発展させ、グローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与するために必要な意欲や能力を、志願理由書や推薦書、高校時の学習成果やさまざまな活動への取組状況を示す証明書等に照らしながら、面接により評価します。

○私費外国人留学生入試

小論文と面接を日本語で実施し、幅広い基礎学力およびグローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与するために必要な意欲や能力を評価します。面接には、筆記試験問題（小論文）に関連する追加質問のほか、専門分野に関する学習到達度の確認を目的とする口頭試問が含まれます。

○国際プログラム群入試

書類選考と面接により、幅広い基礎学力およびグローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与するために必要な意欲や能力を評価します。

経 済 学 部

（1）入学者受入れの方針

経済学・経営学の専門的な知識を学ぶための基礎的な学力を備え、ダイナミックに変化する現代の経済社会への鋭い関心を持って、経済活動に関わる諸問題を理論的・実証的に探究することができる学生の入学を求めます。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

経済学・経営学の専門的な知識を学び、経済活動に関わる諸問題を理論的・実証的に探究するための基礎的な学力を備えた者を、大学入学共通テストと国語・数学・外国語の３教科の個別学力検査により選抜します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

経済学・経営学に対する勉学意欲と基礎的な学力を備え、かつ①個性的・意欲的な指導力、②特に秀でた学力、③課外活動における特筆すべき成果、のいずれかの特色を一つ以上持ち、学習成績･人物ともに優れ、学校長等からの推薦を受けた者を選抜します。基礎的な学力を大学入学共通テスト、勉学意欲と特色を書類審査と面接を通じて評価します。

○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生として、日本で経済学・経営学について学ぶ強い勉学意欲と基礎的な学力を備えた優秀な者を、日本留学試験と TOEFL 及び、小論文試験と面接により選抜します。

○国際プログラム群入試

社会科学プログラムにおける経済学・経営学を中心とした英語によるカリキュラムの下で、経済のグローバル化や日本の産業などに関心を持ち、将来国際的に活躍することを志す者を、書類審査と面接により選抜します。

情 報 学 部

（1）入学者受入れの方針

情報学部は、情報学の各分野の研究者になりうる人材のみならず、情報学を駆使して、新しい価値の創出、課題の発見と解決、情報社会の基盤的仕組みの構想･設計等ができる人材、あるいは、企業や政府機関･国際機関等の組織を情報の観点からマネジメントできる人材、情報学に通じた科学諸分野の研究者になりうる人材を養成することを目標としています。そのため、このような人材育成の基盤となる次のような資質を持った多様な学生を、幅広く対象として入学者選抜を実施します。

ア　幅広い情報学の知識とスキルを身につけるために必要な、十分な基礎的学力を有していること。（学部共通）

イ　情報の観点から世界を理解し、情報技術を駆使して諸科学を革新しようとする意欲を有すること。（主に自然情報学科）

ウ　社会の抱える問題と未来の社会像について問題意識をもち、情報学を用いて問題を解決し価値を創造しようとする意欲を有すること。（主に人間・社会情報学科）

エ　社会と調和し、社会に価値をもたらす情報技術を創造しようとする意欲を有すること。（主にコンピュータ科学科）

自然情報学科、人間・社会情報学科、コンピュータ科学科への多様な資質と興味を持った学生を獲得するために学科ごとに選抜します。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

情報学部の一般選抜による募集人員は113名です。入学者選抜については、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等により、情報学部が文理融合を特色とする学部であることから、大学入学共通テストにおいては、幅広い知識と能力を担保するために、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語から５教科または６教科について７科目または８科目を課しています。また、個別学力検査等では、全学科に共通して外国語を課すとともに、各学科においては人材養成をする上で基礎となる理解力や素養を判断できる科目を課しています。

自然情報学科

特定の分野のサイエンスに深い関心を抱き、情報学を用いてそれをさらに一歩進めたいと願う学生を求めており、このような、ある意味で「尖った」サイエンス志向の学生を受け入れるため、個別学力検査において理科４科目から１科目選択とします。入学後の自然情報学科のカリキュラムを通じて広く学ばせることにより、こうした学生の関心を他分野そして社会へとより広げていくことを目指しています。

人間・社会情報学科

社会とそれを構成する人間に関心をもつ学生を求めています。人間・社会情報学科は社会情報系と心理・認知科学系からなりたっています。情報科学技術を人文社会学や心理・認知科学に適用することから、情報学に理解のある文系学生と人文社会学に興味を持つ理系学生の双方を受け入れるため、個別学力検査において地理歴史と数学の選択としています。

コンピュータ科学科

情報技術の創造による社会貢献というテクノロジー志向の学生を求め、技術創造力の向上を目指す教育を行うために、理科全般への関心をもつ学生を対象とすることが有効であると考えています。した

がって、個別学力検査において、物理を含む理科４科目のうち２科目を指定します。物理を必須とするのは、物理が高校理科の科目のうちでは、コンピュータ科学科の教育内容に最も親近性が高いこと等を考慮しています。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

情報学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れ、特に情報を活用して人類の課題に挑む意欲のある者を選抜します。

情報学部の学校推薦型選抜による募集人員は22名とし、選抜方法は、学科共通とします。選抜方法は、第１次選考と第２次選考により行い、第１次選考は、提出された志願理由書、学校長の推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。大学入学共通テストの利用科目は、一般選抜と同じ科目とします。

第２次選考は、第１次選考合格者に対し、学科ごとに面接を実施し、合格者を決定します。なお、多面的・総合的な選抜を強化するために、上記の提出書類の他に任意で自己評価一覧の提出を認めることとし、自己評価一覧に記載する事項は、英語やその他の外国語の能力を示すスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・ドイツ語検定等）、国際標準の入学資格や国際バカロレアのスコア、各種検定の認定書、各種コンテストにおける入賞を証明する書類、社会的活動での活動を証明する書類等であり、第２次選考の参考とします。

○私費外国人留学生入試

情報学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れ、特に情報を活用して人類の課題に挑む意欲のある者を選抜します。

情報学部の私費外国人留学生入試による募集人員は若干名とし、選抜方法は、小論文と面接により行い、合格者を決定します。（出願要件は学科によって異なります。）

理 学 部

（1）入学者受入れの方針

自然界を貫く真理の探究に挑むため、総合的な基礎学力に加えて理学の諸分野における幅広い教養と深い知識を持ち、チャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれた、瑞々しい創造力をもつ人を求めています。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

一般選抜では、大学入学共通テストにより総合的な基礎学力を測り、個別学力検査では「数学」「理科」「外国語」及び「国語」を課すことにより、理学の諸分野における教養の幅広さと知識の深さに加えて、読解力、表現力、論理的思考力を測ります。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストにより総合的な基礎学力を測ると共に、提出書類により高校での学習成果や様々な活動への取組状況を、面接により理学に対するチャレンジ精神や知的好奇心、表現力、説明力を測ります。

○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、日本留学試験（日本語、理科、数学）および英語検定試験（TOEFL 又は IELTS）、提出書類によって総合的な基礎学力を測ります。また、面接により理学の諸分野における教養の幅広さと知識の深さ、チャレンジ精神と知的好奇心、日本語能力、表現力、説明力を測ります。

○国際プログラム群入試

物理系プログラム

国際プログラム群学部学生入学試験では、一次審査（書類審査）および二次審査（面接審査）により、基礎学力、物理学および応用物理学における知識の深さと、理学に対する熱意、表現力、説明力等を測ります。

化学系プログラム

国際プログラム群学部学生入学試験では、一次審査（書類審査）および二次審査（面接審査）により、基礎学力および化学における知識の深さと、理学に対する熱意、表現力、説明力等を測ります。

生物系プログラム

国際プログラム群学部学生入学試験では、一次審査（書類審査）および二次審査（面接審査）により、基礎学力および生物学における知識の深さと、理学に対する熱意、表現力、説明力等を測ります。

医学部医学科

（1）入学者受入れの方針

豊かな人間性、高い倫理性、科学的論理性を備え、創造力に富む医師・医学研究者へと成長するために必要な能力と資質を備えた学生を求めています。そのために、幅広い教養及び十分な基礎学力のみならず、知的好奇心や科学的探究心をもって新たな分野を開拓するような意欲を持ち、物事を多面的に捉え深い洞察力を持って発展させることができる思考力を有し、人間に対する共感や高い協調性といった医学に携わる者としての適性を兼ねそなえた入学者を選抜します。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

大学入学共通テストにより基礎学力の評価を行う。さらに前期日程においては、個別学力検査により幅広い教養と知識について、面接により将来の医師、医学研究者としての適性について評価し、加えて、県内の地域医療を担う意欲をもった人物を重視した選抜（地域枠）も行います。一方、後期日程においては面接試験にて将来の医師、医学研究者としての適性及び学力を評価する選抜を行います。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストによる基礎学力の評価のみならず、面接試験により、医学研究者への志向性を持ち、将来研究医を目指す能力と資質を有した人物を重視した選抜を行います。

○私費外国人留学生入試

筆記試験では生命科学を中心とした基礎学力を評価します。面接試験では基礎学力に加えて、卒業時に医師国家試験に合格するに足る日本語能力を計るための選抜を行います。

医学部保健学科

（1）入学者受入れの方針

保健学科では、未来の「勇気ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。保健学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。入学者が次のような資質を有することを期待します。

1．生命への畏敬の念、弱者への思いやり
2．科学的探究心と積極的意欲並びに行動力
3．多様な価値観を受け入れる寛容さ
4．ボランティア精神とフロンティア精神
5．穏やかな情緒と協調性

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

前期日程により選抜します。大学入学共通テストでは、国語（配点200点）・地理歴史もしくは公民（100点）・数学（200点）・理科（200点）・外国語（200点）により、基礎的な学力を評価します。個別学力検査では、国語（配点150点）・数学（500点）・理科（500点）・外国語（500点）により、理解力・論理的思考力などを通して問題解決の思考力を有することを評価し、これらを総合的に判断します。

○学校推薦型選抜（保健学科全専攻）（大学入学共通テストを課す）

第１次選考では提出された志願理由書、推薦書、調査書並びに大学入学共通テストの成績により、基礎的な学力や保健学分野への意欲を評価します。第２次選考では、口頭試問による面接により保健学分野への適性や積極性を評価し、これらを総合的に判断します。

○私費外国人留学生入試

保健学科放射線技術科学専攻を除く全専攻

提出された出願書類により、保健学領域への意欲や基礎的な能力を評価します。また日本留学試験およびTOEFL により、基本的な学力ならびに日本語の理解に加え、小論文と面接により、保健学分野への適性や積極性を評価し、これらを総合的に判断します。

保健学科放射線技術科学専攻

提出された出願書類により、保健学領域への意欲や基礎的な能力を評価します。また日本留学試験およびTOEFL により、基本的な学力ならびに日本語の理解に加え、面接により、保健学分野への適性や積極性を評価し、これらを総合的に判断します。

工 学 部

（1）入学者受入れの方針

自然科学に対する強い興味と、人間や社会に対する幅広い関心をもち、工学を学ぶために十分な基礎学力を有するとともに、現代社会で直面する諸問題に果敢に挑戦し、それぞれの専門分野でグローバルなリーダーとして、社会に貢献し続ける意欲を有する人材を求めています。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

入学者受入れの方針にしたがって、特に、工学を学ぶための基礎学力と素養をも持った意欲のある人材を選抜します。具体的には、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書により、各学科において基礎的な学力を評価し、選抜します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

入学者受入れの方針にしたがって、特に、自然科学に対する強い興味と、人間や社会に対する幅広い関心をもつ人材を選抜します。具体的には、各学科における口頭試問、志願理由書、推薦書、調査書による該当分野を学ぶ意欲や態度の評価に、大学入学共通テストによる基礎的な学力評価を加えて、総合的に選抜します。

○私費外国人留学生入試

入学者受入れの方針にしたがって、特に、工学を学ぶための基礎学力と素養をもった意欲のある人材を選抜します。具体的には、語学力（日本語および英語能力の外部スコア）の評価に加えて、各学科において実施する個別学力検査により、基礎的な学力を評価し、選抜します。

○国際プログラム群入試

化学系プログラム

国際プログラム群学部学生入試では、一次審査（書類審査）および二次審査（面接審査）により、基礎学力および化学を学ぶ意欲・態度を評価し、選抜します。

自動車工学プログラム

国際プログラム群学部学生入試では、一次審査（書類審査）および二次審査（面接審査）により、基礎学力および自動車工学に関連する分野を学ぶ意欲・態度を評価し、選抜します。

農 学 部

（1）入学者受入れの方針

「食・環境・健康」に関わる学問を探究するために必要な基礎的学力を有し、それぞれの専門分野で指導者や専門家として知識と技術を社会に役立てようという志をもつ人材を求めています。

（2）選抜の基本方針

○一般選抜

一般選抜においては、理科にやや重点を置き、大学入学共通テスト（５教科７科目）とともに、国語・数学・理科・外国語の個別学力検査を課します。基礎知識・理解力・論理的思考力・応用力などを総合的に評価し、選抜します。

○学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

学校推薦型選抜においては、大学入学共通テスト（５教科７科目）、提出書類の評点をもとに、志望学科に対する明瞭な志向と将来を見据えた明確な勉学目的をもち、学習成績・人物ともに優れた人を選抜します。

○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生選抜においては、日本留学試験の成績、TOEFL の成績、提出書類、小論文および口頭試問を含む面接での評点をもとに総合的に評価します。志望学科に対する明瞭な志向と将来を見据えた明確な勉学目的をもち、学習成績・人物ともに優れた人を選抜します。

○国際プログラム群入試

G30留学生選抜においては、書類審査および面接審査での評点をもとに総合的に評価します。志望教育プログラムに対する明瞭な志向と将来を見据えた明確な勉学目的をもち、学習成績・人物ともに優れた人を選抜します。

Ⅱ　学校推薦型選抜における各学科・専攻が求める人物像

情報学部

自然情報学科

幅広い情報学の知識とスキルを身につけるために必要十分な基礎的学力を有しているとともに、情報の観点から世界を理解し、情報技術を駆使して諸科学を革新しようとする意欲を有すること。

人間・社会情報学科

幅広い情報学の知識とスキルを身につけるために必要十分な基礎的学力を有しているとともに、社会が抱える問題と未来の社会像について問題意識をもち、情報学を用いて問題を解決し価値を創造しようとする意欲を有すること。

コンピュータ科学科

幅広い情報学の知識とスキルを身につけるために必要十分な基礎的学力を有しているとともに、社会と調和し、社会に価値をもたらす情報技術を創造することを通じて、人類に貢献しようとする意欲を有すること。

医学部保健学科

看護学専攻

医療の発展とともに看護の役割はますます大きく、また多様になって来ている中で、優れた看護人材の育成とともに、看護の「知」の創出のための研究に日々取り組んでいます。そのため、大学院への進学を視野に入れた学生の入学を期待します。

放射線技術科学専攻

常に進歩を続ける放射線技術科学の発展に貢献できる学生に加え、世界に先駆け、新たな医療技術を生み出すことのできる創造性の豊かな学生を求めています。当専攻では大学院への進学を視野に入れた研究志向のある学生の入学を期待します。

検査技術科学専攻

高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、チーム医療に対応できる豊かな人間性を有する学生、さらには大学院進学を視野に入れ、検査技術科学を学問として追究していく教育研究者を目指す学生の入学を期待します。

理学療法学専攻

多様化する理学療法においてイノベーションを創出できる人材の育成を、学部・大学院の一貫した教育で行っています。大学院への進学を視野に入れた、科学的探究心が強く、フロンティア精神に溢れる学生の入学を期待します。

作業療法学専攻

心身共に健康で自立した生活を支えるリハビリテーションの一翼を担う作業療法に、深い関心と探求心を傾けて学ぶ人材を求めます。大学生活から国際的な視野と研究志向を築き、大学院に進学してさらに作業療法科学を探求することを期待します。

工学部

化学生命工学科

高等学校までの自然科学系科目全般に関する確かな学力を持つ者。物質の構造・性質・反応、生命現象の理解と工学的応用など幅広い専門知識の習得を目指す者。化学に基づく総合力・広い視野・思考力で未来社会を構築することに意欲を持つ者。

物理工学科

物理学、化学、数学などに高い関心を持ち、量子力学など先進的学術の講義と演習・実験などからなる体系的な大学のカリキュラムを積極的に修得し、科学技術の発展や社会の様々な問題の解決に貢献しようとする志高く意欲的な者。

マテリアル工学科

マテリアル工学に対する勉学意欲が旺盛で、素材・材料・物質等を中心に自然界に謙虚に向き合うことができ、新しい世界に果敢にチャレンジする気概にあふれ、かつ周囲の力を巻き込み、リーダーシップを発揮できる者。

電気電子情報工学科

数学もしくは物理について、高い学習意欲と能力を有する者。電気電子情報工学に関する技術・現象に強い関心を持ち、基礎力を展開することにより問題解決に取り組むことができる者。

機械・航空宇宙工学科

機械・航空宇宙工学の専門知識と技術を学ぶために必須な基礎学力、物事を多面的に考えることが出来る柔軟性と工学的センス、および新しい機械･航空宇宙システムを構築しようとする強い意欲を有している者。

エネルギー理工学科

エネルギー問題が社会の健全かつ持続的発展にとって最も重要な課題であると認識し、人類社会が直面している問題について、多角的な視野からこれを解決する強い意志を持つ者。

環境土木・建築学科環境土木工学プログラム

環境土木工学に対する高い学習意欲があり、論理的にものを考えそれを表現する能力を持ち、異なる視点や考え方に柔軟に対応できる応用力・創造力を有する者。

環境土木・建築学科建築学プログラム

建築学に対する強い興味と、それを学ぶための高い学力および芸術的能力を有し、常に多様な価値観を認めあい、他と協調し、幅広く意見交換を行いながら意思決定しようとする個性的で創造力豊かな者。

〈女子学生の積極的な出願を期待〉

▶電気電子情報工学科では、学科が求める資質を有する優秀な女子学生の積極的な出願を期待し、入学者の多様性を確保し、工学分野において社会を構成する比率と大きな乖離が見られる女性比率の是正を目指すため、学校推薦型選抜に女子枠を設ける。

▶エネルギー理工学科では、強い志･将来展望を持った優秀な女子学生の積極的な出願を期待し、また、工学分野において、社会を構成する比率と大きな乖離が見られる女性比率の是正を目指すため、学校推薦型選抜に女子枠を設ける。

農学部

生物環境科学科

生物環境科学科では、生態学、土壌学、水文学、森林科学、バイオマス科学などを学び、森林をはじめとする生物圏と人との共生をめざします。人類が直面する環境問題や生物資源の持続的生産・利用に関する諸問題の解決に熱意をもって取り組む人を求めています。

資源生物科学科

資源生物科学科では、動植物の生理、形態、機能やそれらを支えるゲノム基盤に関する生命科学を主体的に学ぶ姿勢をもち、文理の枠を超えた幅広い考え方を養う意欲を備え、将来、その知識や技術を統合して食料生産や人類の健康に関する諸問題に取り組む志を持つ人を求めます。

応用生命科学科

応用生命科学科では、有機化学、生物化学、分子生物学などを基盤として生命現象を理解し、生物がもつ機能の多面的な利用と技術開発に関する専門的な知識や技術を通して社会に貢献したいという明瞭な志向をもち、学習成績・人物ともに優れた人を選抜します。

Ⅲ　募集人員

学部・学科等			一般選抜		学校推薦型選抜		合計
			前期日程	後期日程	共通テストを課す入試	共通テストを課さない入試	
文学部			110			15	125
教育学部			55		10		65
法学部			105		45		150
経済学部			165		40		205
情報学部	自然情報学科		30		8		38
	人間・社会情報学科		30		8		38
	コンピュータ科学科		53		6		59
	小計		113		22		135
理学部			220		50		270
医学部	医学科	一般枠	85	5	10 ※1		100
		地域枠	0 ※1				
	保健学科	看護学専攻	45		35		80
		放射線技術科学専攻	30		10		40
		検査技術科学専攻	25		15		40
		理学療法学専攻	13		7		20
		作業療法学専攻	13		7		20
		計	126		74		200
	小計		211※1	5	84 ※1		300
工学部	化学生命工学科		90		9		99
	物理工学科		75		8		83
	マテリアル工学科		99		11		110
	電気電子情報工学科		106		12(女子枠6) ※2		118
	機械・航空宇宙工学科		135		15		150
	エネルギー理工学科		34		6(女子枠3) ※3		40
	環境土木・建築学科	環境土木工学プログラム	72		4		80
		建築学プログラム			4		
	小計		611		69		680
農学部	生物環境科学科		27		8		35
	資源生物科学科		43		12		55
	応用生命科学科		66		14		80
	小計		136		34		170
合計			1,726	5	354	15	2,100

「学校推薦型選抜」において、合格者又は入学手続者が募集人員に達しない場合には、その欠員分は、「一般選抜」の募集人員に加えます。

「一般選抜」の募集人員には、「私費外国人留学生入試」及び「国際プログラム群入試」の募集人員（若干名）を含みます。

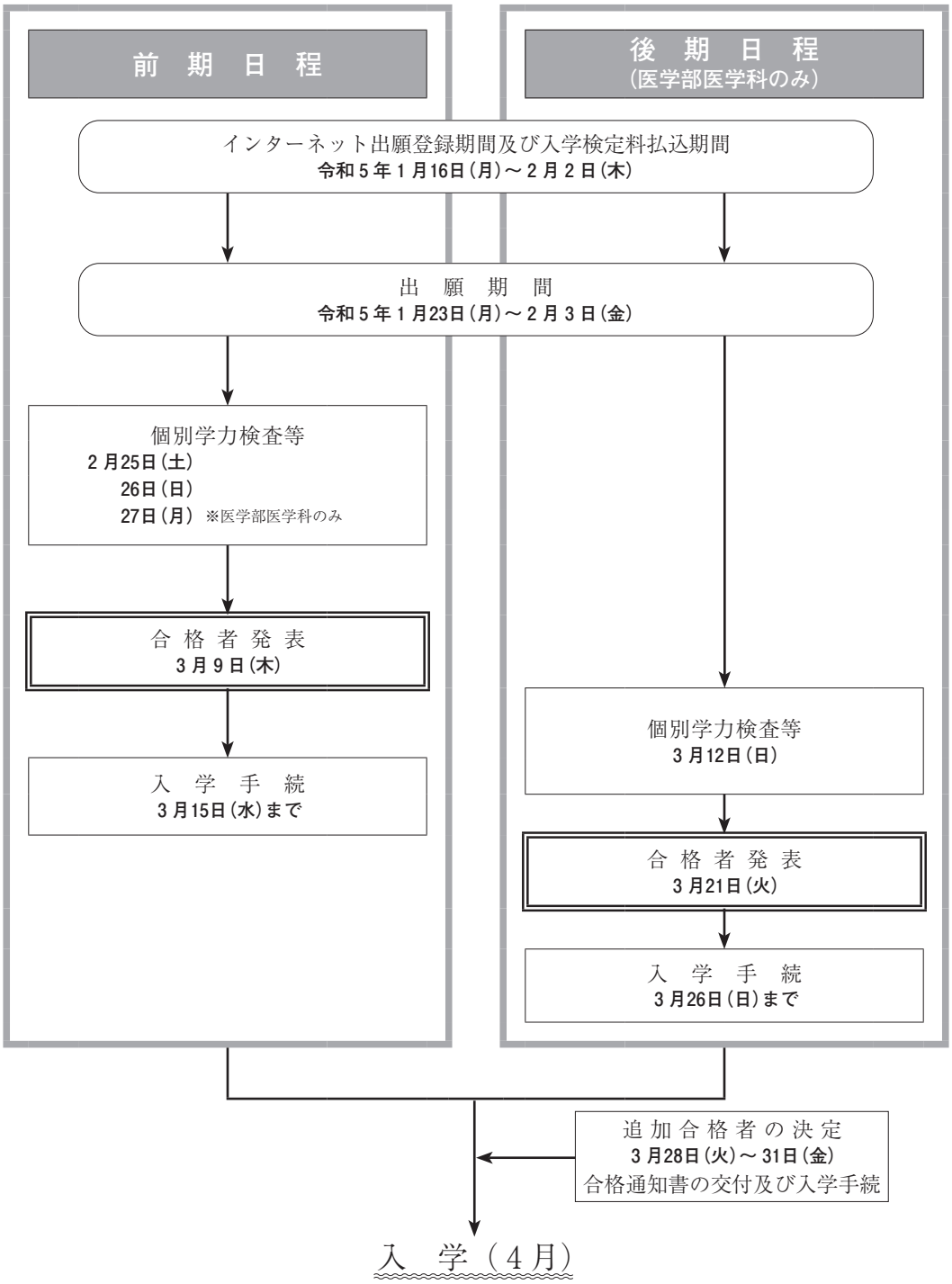
※1　医学部医学科の前期日程（地域枠）及び学校推薦型選抜の募集人員は、暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、前期日程５名、学校推薦型選抜12名となる予定です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

※2　12名のうち６名を女子枠とし、残りの６名は性別を問わず選抜します。

※3　６名のうち３名を女子枠とし、残りの３名は性別を問わず選抜します。

Ⅳ　一般選抜

1．選抜日程



※一般選抜の追試験日程や実施方針については決定次第、募集要項やホームページで公表します。

２．出願資格

本学の一般選抜に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者で令和５年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目（「Ⅳの５．一般選抜の実施教科・科目等」24～28頁参照）を受験した者とします。なお、その他の入試については該当の頁を参照してください。

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和５年３月卒業見込みの者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和５年３月修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和５年３月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりです。

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和５年３月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和５年３月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和５年３月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和５年３月31日までに合格見込みの者で、令和５年３月31日までに18歳に達する者

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和５年３月31日までに18歳に達する者

【注】 上記出願資格③のカにより出願する者は、個別の入学資格審査が必要となりますので下記の期限までに申請してください。

なお、申請手続等の詳細については、名古屋大学 受験生応援サイトの〔入試情報を知りたい〕（https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/）で確認してください。

・大学入学共通テスト出願時に、本学を志望する者
令和４年８月31日（水）［必着］

・大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格認定を受けた者で、その後本学に志望変更する者
令和５年１月16日（月）から令和５年１月20日（金）［必着］

医学部医学科前期日程（地域枠）の出願要件

医学部医学科前期日程（地域枠）を第１志望として出願することができる者は、上記の出願資格を有し、かつ、以下の要件のいずれかを満たす者とします。

１．入学志願者の出身高等学校又は中等教育学校が愛知県内であること

２．入学志願者本人又は入学志願者の保護者の現住所が出願時に愛知県内であること

※前期日程（地域枠）については、23頁を参照してください。

3．選抜方法等

［前期日程］

⑴　実施学部

全学部（文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部）

⑵　選抜方法

大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書、志願理由書（医学部医学科のみ）及び面接（医学部医学科のみ）により総合的に行います。（22頁参照）

なお、医学部医学科では２段階選抜を実施し、工学部、農学部では高得点者選抜を行います。

また、医学部医学科の前期日程では、愛知県内の地域医療を担う人材の育成を目指す者の選抜（地域枠）も行います。（23頁参照）

ア　２段階選抜

医学部医学科のみ２段階選抜を実施します。

大学入学共通テストの成績が900点満点中600点以上の者を第１段階選抜の合格者とします。

イ　高得点者選抜

（ア）工学部

工学部の合格者の決定に当たっては、大学入学共通テスト及び個別学力検査の高得点者を次のとおり取り扱います。

●大学入学共通テストの高得点者選抜

各学科の前期日程募集人員の10％を限度として、個別学力検査の成績が定められた基準を上回る者について、第１志望学科に限り、大学入学共通テストの成績によって選抜を行います。

●個別学力検査の高得点者選抜

各学科の前期日程募集人員の10％を限度として、第１志望学科に限り、大学入学共通テストの成績にかかわらず、個別学力検査の成績によって選抜を行います。

（イ）農学部

農学部の合格者の決定に当たっては、個別学力検査の高得点者について第１志望学科に限り、各学科の前期日程募集人員の20％を限度として、大学入学共通テストの成績にかかわらず、個別学力検査の成績によって選抜を行います。

⑶　第２志望学科（専攻）等への志願

●工学部及び農学部では、第２志望学科までの志願を認めます。

●医学部医学科では、地域枠を第１志望の志願者のみ、一般枠を第２志望として志願することを認めます。

●医学部保健学科では、第２志望専攻までの志願を認めます。ただし、保健学科の各専攻は、それぞれ教育内容に特徴があることを十分考慮してください。選抜に当たっては、各専攻の募集人員の８割程度については、第１志望の志願者を対象に行います。その上で、２割程度については、第１志望及び第２志望の志願者を対象に行います。

［後期日程］

⑴ 実施学部・学科

医学部医学科

⑵ 選抜方法

大学入学共通テスト、志願理由書、調査書及び面接により総合的に行います。

⑶ 2段階選抜

募集人員（５名）の約12倍までの者を、大学入学共通テストの成績に基づいて第1段階選抜の合格者とします。

〈参考〉選抜方法等一覧

〔前期日程〕

選抜方法等／学部・学科名	個別学力検査等								個別学力検査等の日程	備考［欠員の補充の方法等］
		実技検査等				2段階選抜				
	個別学力検査を課す	面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			
							定員に対する倍率	その他		
文学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	追加合格
教育学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
法学部	○	×	○	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
経済学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
情報学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
理学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
医学部 医学科	○	○	×	×	×	○	×	【注】	2月25日・26日・27日	
医学部 保健学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
工学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	
農学部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	

各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。
【注】大学入学共通テストの成績が900点満点中600点以上の者。

〔後期日程〕

選抜方法等／学部・学科名	個別学力検査等								個別学力検査等の日程	備考［欠員の補充の方法等］
		実技検査等				2段階選抜				
	個別学力検査を課す	面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			
							定員に対する倍率	その他		
医学部 医学科	×	○	×	×	×	○	約12倍	×	3月12日	追加合格

各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。

4. 医学部医学科の前期日程（地域枠）について

前期日程における医学部医学科（地域枠）の募集人員は０名としていますが、令和５年度暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、５名となる予定です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

国の施策に基づき、本学医学部医学科の前期日程試験において、愛知県内の地域医療を担う人材を育成することを目的とした募集（地域枠）を予定しています。

本選抜の出願要件はP.20の出願要件のとおり、愛知県出身者または出願時愛知県在住者で、医学部卒業後に愛知県内の地域医療に従事しようとする強い意欲を持つ者とします。これには、愛知県出身または県内在住の高校既卒者等も志願することができます。

本選抜で入学した者は、愛知県から月額15万円程度の奨学金貸与を受けることが必須となります。また、卒業後は、愛知県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく２年間の研修と、愛知県が指定する（注１）公的医療機関における７年間の勤務とを合わせて９年間の地域医療に従事することを義務としています。また、愛知県では義務年限等に関する取扱いを規定した（注２）「キャリア形成プログラム」を策定しており、このプログラムに参加する必要があります。

さらにカリキュラムについては、正規カリキュラムの一部科目の履修指定及び課外学習から構成される「地域医療に関するカリキュラム」の履修を義務付けています。正規カリキュラムにおいては、３年次の基礎医学セミナーや４年次の選択講義等で、地域医療教育講座が担当する授業の選択が必須となります。また、課外実習として、地域医療セミナー（年６回程度開催）や愛知県主催の研修会への参加も義務付けられています。

なお、「地域医療に関するカリキュラム」は年度ごとに見直されるため、カリキュラム・課外学習等の変更があり得ます。

また、前期日程（地域枠）の志願者は、出願時に、（注３）愛知県地域医療確保修学資金貸与条例に定める第８条「返還の債務の当然免除」要件と第10条「返還」（修学資金の返還）要件等への「同意書」の提出が必須です。

（注１） 愛知県内の医師の確保が困難な地域に所在する公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内医療機関のうち、知事が指定する医療機関で、「地域の中核病院」などを想定しています。

（注２）「キャリア形成プログラム」については、
〔URL：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/imu/kyariakeisei.html〕に掲載されています。

（注３）「愛知県地域医療確保修学資金貸与条例」については、
〔URL：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/imu/0000083900.html〕に掲載されています。

【卒業後の勤務パターン（一例）】

下表により卒業後の勤務パターンの一例を示します。

大学１年生　　大学６年生

在学期間 ６年間	県内で 臨床研修 （２年間）	知事の承認を受けて 専門医（後期）研修 （３～４年以内） ［うち２年間を 義務年限に算入（※）］	県の指定する 公的医療機関に 勤務① （２年間）	県の指定する 公的医療機関に 勤務② （３年間）	県の指定する 公的医療機関に 勤務③ （２年間）

※知事が指定する専門医研修の場合は、2年間を義務年限に算入できます。
義務年限に算入されない専門医研修の場合は、公的医療機関での勤務が増えます。（③の勤務あり）

このほかに、専門研修の開始時期は、本人の希望により柔軟に対応できます。例えば、県内で２年間研修し、県の指定する公的医療機関に２年間勤務した後に、専門研修を経て、県の指定する公的医療機関等に勤務することも可能です。

5．一般選抜の実施教科・科目等

学部学科 専攻名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名【注1】		個別学力検査等【注2】			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等【注3(1)】							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
文学部	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から2 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物基，化基，生基，地学基から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕	国 地歴 数 外	国語総合・現代文B・古典B 世B，日B，地理Bから1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	200	200	100	200		900
							個別学力検査	400	200	200		400		1200
							計	600	400	400	100	600		2100
教育学部	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1又は2 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物，化，生，地学から1又は2 （ただし，基礎を付した科目×2科目で1とする。） から3 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100 又は 200	200	100 又は 200	200		900
							個別学力検査	600		600		600		1800
							計	800	100 又は 200	800	100 又は 200	800		2700
法学部	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から2 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物基，化基，生基，地学基から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。） 小論文（高等学校の地歴，公民の学習を前提とする。）	実施しない	共通テスト	200	200	200	100	200		900
							個別学力検査			200		200	200	600
							計	200	200	400	100	400	200	1500
経済学部	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から2 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物基，化基，生基，地学基から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	200	200	100	200		900
							個別学力検査	500		500		500		1500
							計	700	200	700	100	700		2400

学部学科 専攻名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名【注1】		個別学力検査等【注2】			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等【注3(1)】							
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
情報学部	自然情報学科	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生，地学基・地学から1 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	200	200	200		900
								個別学力検査			400	300	400		1100
								計	200	100	600	500	600		2000
	人間・社会情報学科		国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から2 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物基，化基，生基，地学基から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕	地歴 数 外	世B，日B，地理B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B から1 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	200	200	100	200		900
								個別学力検査		400 【注3(2)】	400 【注3(2)】		700		1100
								計	200	200 400 【注3(2)】	200 400 【注3(2)】	100	900		2000
	コンピュータ科学科		国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物と 化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生，地学基・地学から2（ただし，物基・物を含むこと。） 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	200	200	200		900
								個別学力検査			500	500	300		1300
								計	200	100	700	700	500		2200
理学部		前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 （ただし，物，化のいずれかを含むこと。） 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	国 数 理 外	国語総合・現代文B（古文・漢文を除く。） 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生，地学基・地学から2（ただし，物基・物，化基・化のいずれかを含むこと。） 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	200	200	200		900
								個別学力検査	150		500	500	300		1450
								計	350	100	700	700	500		2350

学部学科専攻名			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名【注1】		個別学力検査等【注2】			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等【注3(1)】							
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
医学部	医学科		前期 2月 25日 ・26日 ・27日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	国 数 理 外 その他	国語総合・現代文B（古文・漢文を除く。） 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生から2 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。） 面接	【注4】	共通テスト	200	100	200	200	200		900
									個別学力検査	150		500	500	500		1650
									計	350	100	700	700	700		2550
			後期 3月 12日			その他	英文の課題に基づいた面接（口頭試問）	【注4】	共通テスト	200	100	200	200	200		900
									個別学力検査							
									計	200	100	200	200	200		900
	保健学科	看護学専攻	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	国 数 理 外	国語総合・現代文B（古文・漢文を除く。） 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生から2 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	200	200	200		900
									個別学力検査	150		500	500	500		1650
									計	350	100	700	700	700		2550
		放射線技術科学専攻														
		検査技術科学専攻														
		理学療法学専攻														
		作業療法学専攻														

学部学科 専攻名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名【注1】		個別学力検査等【注2】			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等【注3(1)】							
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
工学部	化学生命工学科	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物と化 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物と化基・化 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	100	100	100		600
								個別学力検査			500	500	300		1300
								計	200	100	600	600	400		1900
	物理工学科														
	マテリアル工学科														
	電気電子情報工学科														
	機械・航空宇宙工学科														
	エネルギー理工学科														
	環境土木・建築学科														
農学部	生物環境科学科	前期 2月 25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	国 数 理 外	国語総合・現代文B（古文・漢文を除く。） 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物，化基・化，生基・生から2 英（「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出題。）	実施しない	共通テスト	200	100	200	200	200		900
								個別学力検査	150		400	600	400		1550
								計	350	100	600	800	600		2450
	資源生物科学科														
	応用生命科学科														

【注１】〈大学入学共通テストの利用教科・科目名〉欄について
（１）教科名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地歴（地理歴史）、数（数学）、理（理科）、外（外国語）
（２）科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、世Ｂ（世界史Ｂ）、日Ｂ（日本史Ｂ）、倫・政経（倫理、政治・経済）、数Ⅰ・数Ａ（数学Ⅰ・数学Ａ）、数Ⅱ・数Ｂ（数学Ⅱ・数学Ｂ）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地学基（地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）
（３）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しません。
（４）「外国語」の「英語」を選択した場合には、リスニングテストを全学部で課します。
（５）指定した教科・科目数を超えて受験した場合には、第１解答科目の成績を用います。
なお、第１解答科目が指定した教科・科目でない場合には、出願することができません。
（６）理科において、基礎を付した４科目のうちから２科目と基礎を付していない４科目のうちから１科目を選択した場合には、基礎を付した２科目の成績を用います。（ただし、教育学部については、（７）を参照のこと）
なお、基礎を付した科目を２科目とも選択せずに、基礎を付していない科目から１科目を選択した場合も出願を認めることとし、基礎を付していない１科目（２科目選択した場合は、第１解答科目）の成績を用います。（ただし、教育学部については、（７）を参照のこと）
理科における基礎を付した科目とは物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を示します。
理科における基礎を付していない科目とは、物理、化学、生物、地学を示します。
（７）教育学部における地歴・公民と理科の選択については、以下のとおりとします。ただし、理科において基礎を付した科目×２科目で１（科目）として扱います。
理科は同一名称を付した科目の組み合わせ（「物理基礎、化学基礎」と「物理」など）はできません。この組み合わせで受験した場合は、基礎を付した科目と基礎を付していない科目のうちから高得点の１科目のみを有効とします。
地歴・公民及び理科をそれぞれ２科目受験し、いずれも有効な場合は、地歴・公民の第１解答科目に加えて、以下に示す２科目の計３科目を採用します。
・理科において基礎を付した科目を受験した場合は、理科の２科目と、地歴・公民の第２解答科目のうちから高得点の２科目を採用します。
・理科において基礎を付した科目を受験しなかった場合は、理科の第１解答科目に加えて、理科と地歴・公民の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

【注２】〈個別学力検査等の教科等及び科目名等〉欄について
（１）教科名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地歴（地理歴史）、数（数学）、理（理科）、外（外国語）
（２）科目名は次のとおり略記しています。
世Ｂ（世界史Ｂ）、日Ｂ（日本史Ｂ）、数Ⅰ（数学Ⅰ）、数Ⅱ（数学Ⅱ）、数Ⅲ（数学Ⅲ）、数Ａ（数学Ａ）、数Ｂ（数学Ｂ）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地学基（地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）
（３）「数学」
・数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａは全範囲から出題し、数学Ｂは「数列」、「ベクトル」から出題します。
・数学の試験については、試験室において公式集を配付します。
（４）「理科」
・「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。
・「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。
・「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。
・「地学基礎・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。
（５）選択科目間で得点調整を行う場合があります。

【注３】〈大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等〉欄について
（１）大学入学共通テストの「外国語」の英語は、リーディングとリスニングの配点比率を「3：1」とし、リーディングは150点満点に、リスニングは50点満点にそれぞれ換算し、合計点を200点満点とします。（工学部は100点満点に換算します。）
なお、受験上の配慮事項によりリスニングテストを免除された者については、リーディングを200点満点に換算します。（工学部は100点満点に換算します。）
（２）選択教科を表します。

【注４】医学部医学科（前期日程・後期日程）の２段階選抜について
前期日程については、大学入学共通テストの成績が900点満点中600点以上の者を第１段階選抜の合格者とします。
後期日程については、募集人員（５名）の約12倍までの者を、大学入学共通テストの成績に基づいて第１段階選抜の合格者とします。

6．個別学力検査実施教科・科目の出題方針

教科・科目等		出　題　方　針
国語		国語の問題は〈現代文〉１題、〈古文〉１題、〈漢文〉１題の計３題を出題します。（国語を課す学部のうち、理学部、医学部および農学部の志望者は〈現代文〉のみを解答することになります。）いずれも、国語に関する基礎知識を前提に、問題文の正確な読解力と思考力、そして解答をまとめる表現力を問います。 〈現代文〉は、まず、問題文が正確に読み取れているかを問います。そのため、漢字の読み・書き取りについても、文脈を正確に理解していないと解けない問題も出題しています。設問は、記述式の問題が中心ですが、その設問に答えていくことで、問題文のより深い読解ができるように配慮しています。また、傍線部や空欄の前後だけではなく、文章全体を論理的に把握した上で、細部にも目を向けていくような読み方を求めています。解答にあたっては、与えられた字数内で的確に表現する力も測ります。 〈古文〉は、まず、基本的な語彙・文法、和歌・俳句などについての知識、そして文学史などの基本的な知識が身についていることが前提です。その上で、問題文の全体的な論旨の流れ、作者の心情、和歌・俳句などの解釈、比喩の意味などを理解することを求めます。さらに、解答にあたっては、限られた範囲の字数で適切に表現する能力についても測ります。 〈漢文〉は、漢文を読み解く前提となる、基本的な重要語および句法（句形）を理解しているか、そして、文脈の中で適切に口語訳あるいは書き下しができるかを問います。その上で、問題文の読解にあたっては、文脈を正確に把握することはもちろん、その文章内の時代背景や思想、登場人物についても理解できているかを判断します。また、解答にあたっては、与えられた字数内で適切に表現する能力についても測ります。
地理歴史	世界史	世界史では、古代から現代までの世界の歴史事象について、高等学校までに学校教科書で学ぶ世界史の基礎知識を踏まえて、問題文と関連史資料を正確に理解し、設問に的確に答える力を判定します。また、論述問題では、これまでに修得した世界史の知識を踏まえて、制限字数の範囲内で設問に対する自分の考えを論理的にまとめる思考力と構成力を特に重視します。 世界史が対象とする地域は多岐にわたっていますが、それらの地域の歴史について考えるにあたっては、常に私たちが暮らしている現代の社会がその出発点となります。しかし、このことは、決して時空間を遠く隔てた世界の歴史事象の軽視を正当化するものではありません。世界の歴史は時系列に沿って単純に展開するものではなく、そこにはその時々において繰り返し参照される過去があり、それが歴史の動態に様々な影響を及ぼしていることを見逃してはならないでしょう。また、複数の世界のあいだで行われた交易や戦争、あるいは思想の伝播などの複雑な異文化交渉がしばしば歴史の原動力となったことにも、注意が向けられなくてはなりません。これらのことは、教科書の静態的な叙述を漫然と読み流しているだけでは理解が難しいことかもしれませんが、歴史書、文学作品、映像、絵画や音楽などの芸術作品も手がかりとすることによって、世界各地の過去の人々の暮らしに対するイメージを膨らませながら、個々の歴史事象とその相互関係を理解するように努めてください。
	日本史	日本史では、原始・古代から現代までを対象にして、高等学校までに学校教科書で学ぶ歴史・日本史・世界史の基礎知識を踏まえて、問題文を正確に読み解き、設問および関連資料をも活用しながら、与えられた制限字数の範囲内で的確な語句・文または文章で答案を作成する力を判定します。 日本史が対象とする地域は「日本」ですが、その意味する範囲は時代によって広がったり縮んだりして変化します。そうした変化は、「日本」という地域内に生きた人々の営みや、「日本」を取り巻く周辺地域との人的・物的・文化的な様々な相互交渉によってもたらされてきました。「日本」を取り巻く周辺地域として分かりやすいのは、たとえば朝鮮半島や中国大陸といった「外国」でしょうが、日本史を教え学ぶ立場からすれば、日本列島内部にもそうした周辺地域は存在します。また、そうした「日本」という地域の伸縮は、「日本」という概念にも変化を与えることになりますから、現代における「日本」「日本人」「日本文化」について、相対的、批判的、多角的に考え直すことが必要となってきます。こうした様々な変化は学校教科書にも記述されていますが、少し意識しないと見過ごしてしまうかもしれません。時代や地域の変化に留意しながら、原始・古代から現代にいたる時代それぞれの歴史的事象を理解するよう努めてください。 設問には歴史資料や図表などが添えられることがあります。それらは学校教科書に掲載されている資料・図表ばかりではありませんが、これまでに学習してきた日本史ほかの教科を通して身につけた知識を使うことによって読み解くことができるものばかりです。未知の資料・図表であっても、そうした既知の知識を活用して的確に判断できるよう求めるものです。そして、答案は一定の字数制限のもとで作成することになりますから、筋道を立てて説明する論理的な文章を的確に整理して書くよう努めてください。

教科・科目等		出　題　方　針
地理歴史	地理	地理では、現代世界にかかわる様々な地理的事象について、高等学校までに学校教科書で習得する〈系統地理〉、〈地誌〉の知識を踏まえて、問題文と図表を正確に読解し、的確な表現と適切な字数で設問に答える能力を判定します。 〈系統地理〉は、自然地理学と人文地理学の二つに大別されます。前者においては、地震や火山、河川、氷河などによって形成される地形、気温や降水量、風といった要素の総合的な状態を扱う気候、気温や降水量と密接に関係する植生や土壌、さらには環境問題や災害などに代表される自然環境と人間生活との関わりを理解することが求められます。後者においては、現代世界における資源、農林水産業や工業、商業といった産業、人口分布やその変化、都市・村落の機能とそれらの変容、衣食住に代表される生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的特徴とそれらが生起する要因について問います。〈地誌〉では、歴史や文化などを基礎とし、現代世界を構成する諸地域をさまざまな空間スケールで多面的・多角的に考察し、現代における多様な地域の今日的な特徴や課題を深く理解する能力が要求されます。 地理の出題では、こうした〈系統地理〉と〈地誌〉に関する基本的な知識とともに、総合的な地域理解の基本ができているかどうかを重視します。地表面における自然環境と人間活動を基本として、地理的事象にどのような空間的な規則性や傾向性がみられるのか、位置や距離、空間的な配置、時間変化に留意して、各種の地図や図表、写真などからそれらを読み取ることができるかどうかを問題にします。とくにさまざまな地理情報が表現されている地図の活用および読解能力は必須です。
数学		数学では、答えを求めさせる問題以外に、証明問題も出題することがあります。いずれの場合も、解答の形式は、いわゆる論述形式であり、答えを求めさせる問題の場合でも、答えの導出にいたるまでの道筋を記述させて評価対象とします。これにより、高校までに学習する数学の基礎に対する理解を前提とし、名古屋大学での学習に必要な数学的能力が十分に身に付いているかを評価します。問題の趣旨を的確に把握する理解力はもちろんのこと、与えられた前提条件から結論にいたるまでの解答の筋道を組み立てる論理的思考力や、必要な計算をこなして結果を導く計算力、限られたスペースに解答を筋道だった文章で的確にまとめる表現力を測ります。さらに、数学的知識の系統的な理解を必要とする分野融合問題の出題などを通じて、数学の応用力も測ります。これらの能力は互いに独立ではなく、例えば適切な計算量によって計算結果を導くには、計算も予測を持って行う必要があり、論理的に考える力が必要になります。また、それぞれの問題がいくつかの小問から成る場合は、小問の間の関連性を捉えることが求められ、理解力に留まらず、論理的思考力や直観力が問われます。この意味で、数学の能力は総合的に測られるべきものであり、総合的な数学力を測ることのできる問題を出題するようにしています。なお、文系と理系では、出題範囲・試験時間・問題数は異なりますが、出題方針は同じです。
理科	物理	物理では、「物理基礎」および「物理」の範囲から出題します。高等学校の物理では、目的意識をもって観察・実験を行うことを通じて、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事物・現象を分析的かつ総合的に考察する能力を身につけることを目標としています。物理学の基礎知識や考え方は、「力と運動」、「熱とエネルギー」、「波」、「電気と磁力」といった様々な概念や原理・法則を系統的に理解するために必須のもので、これらの十分な修得が必要です。 出題では、物理学に関する基本的事項の理解度と物理学的な考察力・探求する能力を見るために、本学が指定する出題範囲から、なるべく分野的な偏りがないようにします。出題にあたっては、物理法則や関係式などの知識や最終的な答を問うだけでなく、そこに至る過程を論理的に述べる記述式問題も出題し、物理的な知識、思考力、理解力、計算力、論証力を総合的に評価します。
	化学	化学では、「化学基礎」および「化学」の範囲から出題します。高等学校の化学では、原子・分子と化学結合に関する正しい理解に基づいて、物質の性質や変化についての基本的な概念や原理・法則の理解を深めることを目標としています。自然界に存在する物質、生物体を形成し生体内で働く物質、人間生活を支える目的で作り出された物質、環境問題や持続性に関連する物質などについての幅広い知識を論理的に組み合わせて活用する能力、またそれらを観察や実験を通して得られた知見と結び付けて活用する能力が必要です。 出題では、「無機化学分野」、「有機化学分野」、「理論化学分野」などの枠にとらわれず、教科書の発展的内容なども出題するなど、各分野にわたった総合的な内容を重視します。化学反応式や数式で表された物質やエネルギーの状態や変化を理解し予測する力、観察・実験結果を物質の性質や変化に関する原理や法則と結びつける力、グラフ・図・化学構造式などの含まれる化学的な情報を読み解く力、実験結果などの図表として記述する力、観察・実験の目的と試薬・器具・条件・手順などとの関連を理解する力、解答に至る過程を論理的に記述する力、などを評価します。

教科・科目等		出　題　方　針
理科	生物	生物では、「生物基礎」および「生物」の範囲から出題します。高等学校の生物では、大学で学ぶ生物学だけでなく、農学、医学、創薬学、環境学など広範なライフサイエンス分野全般の基礎を身につけることを目標としています。生物学で取り扱う空間的スケールは、原子・分子レベルのミクロの事象から、細胞、個体を経て、生態レベルのマクロな事象まで幅広く、時間的スケールも「一瞬」から数十億年にも及びます。結果として、生物は理科の中では教科書の情報量が最も多く、ともすると暗記科目とみなされがちですが、生命現象の基本原理を理解することが必要です。 出題では、生命体の構造、物質代謝、生理、遺伝など、生命現象の根幹に関する基礎知識や理解を幅広く問いますが、各論的な事象に関する知識のみを問う問題を中心に据えることはありません。「観察に基づいて検証可能な仮説を立て、実験的に検証する」という自然科学の普遍的な方法論は生物学においても不可欠です。したがって、複雑な生命現象を注意深く観察する力、実験を組み立てる力、データを正しく読み取り分析する力、生命現象の背景にある物質的基盤やメカニズムを論理的に洞察し、論述する力、を評価します。
	地学	地学では、「地学基礎」および「地学」の範囲から出題します。高等学校の地学では、宇宙から地球、さらに地球を構成する原石中の鉱物に至るまでの幅広い空間スケールの対象を学びます。また時間スケールも、宇宙や地球の進化から私たちが日常的に接している気象現象まで、広い範囲の対象を学ぶことを目標としています。こうした様々な対象を扱う分野についての基礎知識の理解度とそれに基づいた考察力を身につけることが必要です。 出題では、教科書の発展的内容に相当することや、環境問題や自然災害などの最近の話題に関することも出題するなど、地学の各分野の基礎知識だけでなく、分野をまたいだ総合的な内容を重視します。解答を通じて、地学に関する基礎知識の理解度、図表が示す情報を読み解く力、式の組み立てや計算などを通じて定量的に考察できる能力、与えられた情報や得られた結果に対する総合的な思考力、結果や考察を論理的に説明・記述する能力などを評価します。
英語		名古屋大学の英語教育では、「英語の専門書を読み、英語で論文を書いて口頭発表するために必要な基礎力を養成する」点に主眼が置かれています。したがって個別学力試験「英語」では、リーディングとライティングの問題を通して、英語で表現された情報を正確に把握する力と英語を使って発信する力があるかどうかを問います。 リーディングの総合問題では、論旨の展開をおさえながら読み、書かれた内容を正確に理解する力や、文脈に即して作者の意図を読み解く力を測定します。 会話文形式のリーディング問題では、談話の流れに沿って内容を把握する力や、英語の質問に英語で答える力を測ります。 ライティングの問題では、適切な単語・表現・文法を使って自然な英文を書く力や、自身の意見を英語で論理的かつ正確に表現する力を問います。
小論文		小論文では、論述式の問題を通して、課題文の論理を的確に理解したうえで、その理解に基づいて関連する現実の歴史や社会の問題を分析し、自身の理解や分析を与えられた文字数の中で文章として表現する能力を問うています。課題文は、広い意味で法や政治に関わるテーマのものから出題しており、高等学校で学ぶ地理、歴史および公民科目の知識を前提に、課題文を理解するために必要な基礎的な学力を有しているかを評価しています。また、歴史や社会の問題に関心を持っているか、課題文の論理に即して分析するために適切な問題を見つけているか、課題文の論理を応用して自身の視角から問題を分析することができているか、そうして導いた自身の考えを論理的に表現することができているか、などを総合的に評価しています。

7．個別学力検査等の試験時間

［前期日程］

学部・学科		2月25日（土）		2月26日（日）		2月27日（月）	
		教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間
文学部		外国語 地理歴史	10：00～11：45 13：45～15：15	数学 国語	10：00～11：30 14：10～15：55	実施しません	
教育学部		外国語	10：00～11：45	数学 国語	10：00～11：30 14：10～15：55		
法学部		外国語 小論文	10：00～11：45 13：45～15：15	数学	10：00～11：30		
経済学部		外国語	10：00～11：45	数学 国語	10：00～11：30 14：10～15：55		
情報学部	自然情報学科	外国語 理科	10：00～11：45 13：45～15：00	数学	10：00～12：30		
	人間・社会情報学科	外国語 地理歴史(選択)	10：00～11：45 13：45～15：15	数学（選択）	10：00～11：30		
	コンピュータ科学科	外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学	10：00～12：30		
理学部		外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学 国語	10：00～12：30 14：10～14：55		
医学部	医学科	外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学 国語	10：00～12：30 14：10～14：55	面接	8：20　入室開始 16：30頃終了予定
	保健学科	外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学 国語	10：00～12：30 14：10～14：55	実施しません	
工学部		外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学	10：00～12：30		
農学部		外国語 理科	10：00～11：45 13：45～16：15	数学 国語	10：00～12：30 14：10～14：55		

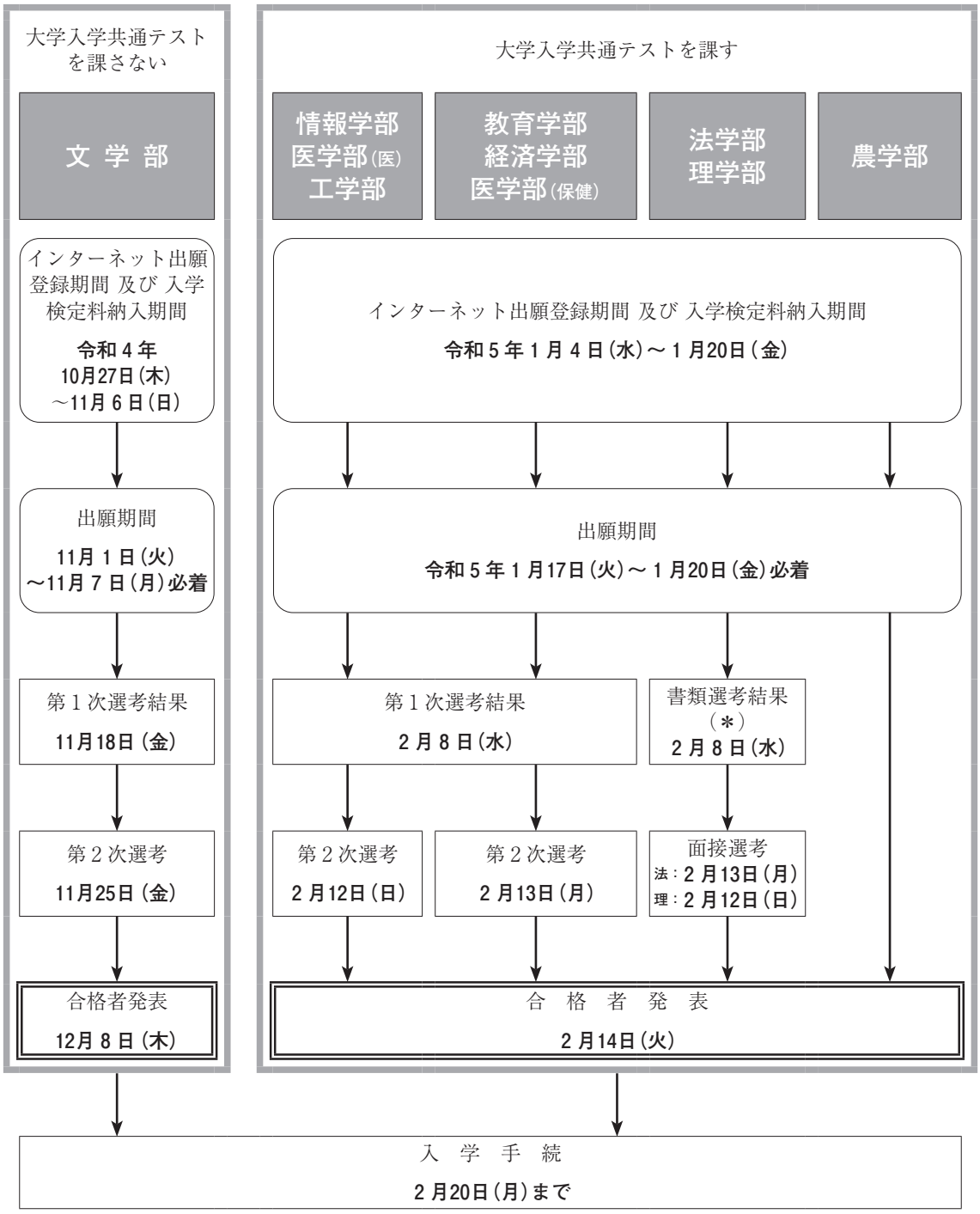
【注】情報学部人間・社会情報学科は，「地理歴史」又は「数学」のうち，出願時に選択した1教科を受験しなければなりません。

［後期日程］

学部・学科	3月12日（日）	
	教科等	時間
医学部医学科	面接	8：20　入室開始 16：30頃終了予定

Ⅴ　学校推薦型選抜

1．選抜日程



＊法学部と理学部は、提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考し、合格者（面接選考を免除された合格者）を決定します。
また、書類選考の結果、合格者とならなかった者のうちから面接選考の受験有資格者を決定します。

2．選抜方法の概要

選抜方法等 ＼ 学部・学科名	学校推薦型選抜						
	個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課す	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実技検査等				
			面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他
文学部	×	○	○	○	×	×	×
教育学部	○	×	○	○	×	×	×
法学部	○	×	○	×	×	×	×
経済学部	○	×	○	×	×	×	×
情報学部	○	×	○	×	×	×	×
理学部	○	×	○	×	×	×	×
医学部 医学科	○	×	○	×	×	×	×
医学部 保健学科	○	×	○	×	×	×	×
工学部（下記プログラム以外）	○	×	○	×	×	×	×
工学部（環境土木・建築学科建築学プログラム）	○	×	×	×	×	×	○（スケッチ）
農学部	○	×	×	×	×	×	×

【注】各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。
【注】専門高校・総合学科卒業生入試、帰国子女入試、社会人入試は実施しません。

［大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜］

個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、学校長等の推薦書、志願理由書、調査書、面接、小論文及び学部が指定する事項に関する書類により総合的に行います。（35頁参照）

［大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜］

個別学力検査を免除し、大学入学共通テスト、学校長等の推薦書、志願理由書、調査書、面接及び各学部が指定する事項に関する書類により総合的に行います。（36～44頁参照）

3．大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

文　学　部	
募集人員	15名
出願資格・要件	当学部の「アドミッション・ポリシー」に合致することに加え、次の①から③の出願要件のすべてを満たす者。①学業及び人物ともに傑出し、学校長等が責任をもって推薦できること、②調査書の学習成績概評がA段階であること、③合格した場合には必ず入学することを確約できること。 なおかつ、次の⑴から⑶の出願資格のいずれかに該当する者。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、２名以内とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～⑥に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC・HSK・中検・DELF/DALF・仏検・Goethe-Zertifikat・独検等） ②　国際バカロレアのスコア ③　スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動 ④　全国規模・地方規模の人文学分野のコンテスト等への参加状況 ⑤　科学オリンピック等の実績 ⑥　その他各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等
選抜方法等	上記出願資格・要件を満たす者に対し、大学入学共通テストを課さないで、書類審査及び小論文・面接による選抜を実施します。選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、書類審査（志願理由書、推薦書及び調査書）により行い、約30名を第１次合格者とします。 第２次選考は、第１次合格者に対して小論文及び面接を課し、総合的に選考して合格者を決定します。なお、任意で提出された書類については第２次選考の参考にさせていただきます。 【注】 ⑴　小論文は、英語の文章を読み、日本語で論述する形式です。 ⑵　面接は、複数教員による15分程度の個人面接です。受験者は志願理由書に基づき５分間のプレゼンテーション（Microsoft Power Point や手持ちの資料などは利用できません）を行い、それに対して10分程度の質疑応答が行われます。
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

4．大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

教　育　学　部

募　集　人　員	10名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部の「アドミッション・ポリシー」にあるように、広い視野と深い洞察力、考察力、論理的思考力、表現力、実践力を有し、人間の成長発達と教育をめぐる課題に深い関心をいだき、教育学と心理学に対する勉学の熱意と意欲を持ち、学業・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受けた者、かつ合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち当学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、２名以内とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～⑦に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　教育学部のアドミッション・ポリシーに合致する活動、あるいは達成事項等で特筆すべきものについて志願者がまとめた書類 ②　ボランティア活動等社会貢献活動の実績を証明する書類 ③　スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）に関連した特筆すべき活動や得たことを志願者がまとめた書類 ④　グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動等について志願者がまとめた書類 ⑤　外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、英検、IELTS、TestDaf、DALF、HSK 等） ⑥　海外研修又は留学の事実を証明する書類 ⑦　国際バカロレアのスコア
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に判断して行い、第１次選考の合格者（第２次選考の受験有資格者）を決定します。 第２次選考は、第１次選考合格者に対し、小論文及び面接を実施して、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 （から１又は２） 理　：物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物，化，生，地学から１又は２ （ただし，基礎を付した科目×２科目で１とする。） （から３） 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７～８科目又は６教科７～８科目〕
そ　の　他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

法　学　部

募集人員	45名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数に制限はありません。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL・英検・IELTS等） ②　数学オリンピック・科学オリンピック等での実績 ③　国際バカロレアのスコア ④　スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動 ⑤　その他、各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等
選抜方法等	⑴　書類選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考し、約30名の合格者（面接選考を免除された合格者）を決定します。また、書類選考の結果、合格者とならなかった者のうちから面接選考の受験有資格者を決定します。 ⑵　面接選考では、上記⑴の書類選考で面接選考の受験有資格者となった者に対し口頭試問による面接を実施し、面接及び提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考して、約15名の合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 ｝から２ 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物基，化基，生基，地学基から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科８科目又は６教科８科目〕
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

経　済　学　部

募　集　人　員	40名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、経済学に対する強い勉学意欲を抱いており、かつ以下のような特色すなわち、①個性的、意欲的で指導力がある、②勉学に特に秀でている、③課外活動等で特に成果をあげている、を一つ以上持ち、学業成績・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、２名以内とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～④に該当する場合は書類を提出してください。 ①　英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC 等） ②　国際バカロレアのスコア ③　スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動を証明する書類 ④　その他各種活動状況、表彰、資格を証明する書類
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考では、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意で提出された書類等、並びに大学入学共通テストの成績により約60名の第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第２次選考では、第１次選考合格者に対して面接を実施し、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 } から２ 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物基，化基，生基，地学基から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科８科目又は６教科８科目〕
そ　の　他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

情　報　学　部

募集人員	自然情報学科　8名 人間・社会情報学科　8名 コンピュータ科学科　6名　　計　22名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れ、特に情報を活用して人類の課題へ挑む意欲があり、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、学科ごとに１名とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの（第２次選考で参考にさせて頂くことがあります。） 次の①～③に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　外国語の能力 英語やその他の外国語の能力を示すスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・独検等） ②　国際標準の入学資格 国際バカロレアのスコア ③　その他 各種検定の認定証 国際規模，全国規模，地方規模のコンテストにおける入賞を証明する書類 社会的活動での活躍を証明する書類
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第２次選考は、第１次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） （自然情報学科） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ　｝から１ 公民：倫・政経 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物，化，生，地学から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕 （人間・社会情報学科） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ　｝から２ 公民：倫・政経 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物基，化基，生基，地学基から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科８科目又は６教科８科目〕 （コンピュータ科学科） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ　｝から１ 公民：倫・政経 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物と 化，生，地学から１ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

理　学　部

募集人員	50名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部の「アドミッション・ポリシー」にあるように、数学や自然科学に強い興味を持ち、基礎となる高等学校の数学や理科の授業内容を十分に理解し、自然界を貫く真理の探究に挑むチャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれ、豊かな創造力を持つことを要件に、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数に制限はありません。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～③に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　優れた英語力を示す各種試験（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC 等）の成績を証明する書類 ②　国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③　高等学校等で行った課外活動等の実績（グローバルサイエンスキャンパス（GSC）、本学の名大MIRAI GSC・名大みらい育成プロジェクトにおける活動状況、スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動状況、数学・物理・化学・生物・地学の分野の各種オリンピック（例：化学グランプリ、全国物理コンテスト 物理チャレンジ等）の参加状況、全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況等）を証明する書類
選抜方法等	選抜は、次により行います。 ⑴　書類選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考し、約25名の合格者（面接選考を免除された合格者）を決定します。 　また、書類選考の結果、合格者とならなかった者のうちから面接選考の受験有資格者を決定します。 ⑵　面接選考では上記⑴の書類選考で面接選考の受験有資格者となった者に対し口頭試問による面接を実施し、面接及び提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考して、約25名の合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 ｝から１ 数　：数Ⅰ・数Ａと 　数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物，化，生，地学から２（ただし、物，化のいずれかを含むこと。） 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 　主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

医 学 部 医 学 科

募 集 人 員	10名【注】
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、特に医学研究者への志向性を持つ人材であり、調査書の学習成績概評がＡに属し、学習成績・人物ともに特に優秀で、学校長等からⒶとして責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴ 高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵ 学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は１名とします。 ※入学後のカリキュラムの詳細については、本学医学部ホームページ（https://www.med.nagoya-u.ac.jp/）→名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科→入学案内→推薦入学→推薦入学受験生サイトを参照してください。
主な提出書類	Ａ 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 Ｂ 任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類はおもに面接の際の参考資料として使用します。 ① 英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL，IELTS，英検等） ② 国際バカロレアのスコア ③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動状況 ④ グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動状況 ⑤ 科学研究に関する活動を積極的かつ継続的に行い、その成果や活動を客観的に示すことができるもの（例えば生物学オリンピック出場歴等）
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第２次選考は、第１次選考合格者に対し、和文と英文の課題を設定し、プレゼンテーションと口頭試問による面接を実施し、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国 ：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 ｝から１ 数 ：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理 ：物，化，生から２ 外 ：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
そ の 他	⑴ 研究医（医師免許を持つ研究者）奨学金制度について 研究医を目指し、大学院（MD・PhD コースを含む）へ進学する者への経済的支援を図るため、国の政策に基づいた奨学金制度を設けております。「MD・PhD コース」の詳細については、本学医学部ホームページ（https://www.med.nagoya-u.ac.jp/）→名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科→大学院教育→博士課程→ MD・PhD コース、博士課程スカラーシッププログラムを参照してください。 ⑵ 任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

【注】医学部医学科の学校推薦型選抜の募集人員は、暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、12名となる予定です。
確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

医 学 部 保 健 学 科

募 集 人 員	看 護 学 専 攻　35名 放射線技術科学専攻　10名 検査技術科学専攻　15名 理学療法学専攻　7名 作業療法学専攻　7名　　計　74名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部・学科に対する明確な志向と勉学の意欲を持ち、学業成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、専攻ごとに２名以内とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①、②に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類は、主に面接の際の参考資料として使用します。 ①英語力を示す次の試験のスコア（TOEFL，IELTS，TOEIC，英検，GTEC） ②グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動を示す書類 ③名大 MIRAI GSC（グローバルサイエンスキャンパス）および名大みらい育成プロジェクトにおける活動を示す書類
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第２次選考は、第１次選考合格者に対し、口頭試問による面接を実施し、面接及び提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経　　から１ 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物，化，生から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
そ の 他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

工　学　部

募集人員	化学生命工学科　9名 物理工学科　8名 マテリアル工学科　11名 電気電子情報工学科　12名 （うち女子枠　6名*） 機械・航空宇宙工学科　15名 エネルギー理工学科　6名 （うち女子枠　3名**） 環境土木・建築学科 環境土木工学プログラム　4名 建築学プログラム　4名 計　69名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、工学に対する強い勉学意欲と将来を見据えた明確な勉学目的を持ち、学習成績、人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、各学科２名以内とします。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～⑦に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類は第１次選考もしくは第２次選考の際の参考資料として使用することがあります。 ①　英語検定試験（TOEFL・IELTS・TOEIC・GTEC・英検等）の成績を証明する書類 ②　国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③　スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）・グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動状況を証明する書類 ④　科学オリンピック（国際数学オリンピック、日本数学オリンピック等）への参加状況を証明する書類 ⑤　全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況を証明する書類 ⑥　本学の名大 MIRAI　GSC（グローバルサイエンスキャンパス）・名大みらい育成プロジェクトにおける活動状況を証明する書類 ⑦　その他、各種活動状況、表彰、資格を証明する書類
選抜方法等	選抜は、第１次選考と第２次選考により行います。 第１次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入学共通テストの成績により第１次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第２次選考は、第１次選考合格者に対し、口頭試問による面接を実施し、合格者を決定します。 ※環境土木・建築学科建築学プログラムを希望する場合、第２次選考はスケッチにより行います。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経 } から１ 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物と化 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

〈女子枠について〉

＊　電気電子情報工学科では、電気電子情報工学に関する技術・現象に強い関心を持った優秀な女子学生の入学を促すため、学校推薦型選抜における募集人員を11名から12名に増やし、そのうち６名を女子枠とします。残りの６名は性別を問いません。

＊＊　エネルギー理工学科では、強い志・将来展望を持った優秀な女子学生の入学を促すため、学校推薦型選抜における募集人員を４名から６名に増やし、そのうち３名を女子枠とします。残りの３名は性別を問いません。

農　学　部

募集人員	生物環境科学科　8名 資源生物科学科　12名 応用生命科学科　14名　　計　34名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、農学に対する強い勉学意識と将来を見据えた明確な勉学目的があり、学習成績・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「令和５年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 ⑴　高等学校又は中等教育学校を令和５年３月卒業見込みの者 ⑵　学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和４年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ⑶　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年４月から令和５年３月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数に制限はありません。
主な提出書類	A　提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 B　任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①　英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC 等）を証明する書類 ②　国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③　スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）、名大 MIRAI GSC（グローバルサイエンスキャンパス）、名大みらい育成プロジェクト等における活動状況を証明する書類 ④　数学、物理、化学、生物、地学の各科学オリンピック（例：日本数学オリンピック）、全国規模・地方規模の科学分野コンテスト等への参加状況を証明する書類 ⑤　その他科学分野での活動状況を証明する書類
選抜方法等	提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績を志望学科ごとに総合的に選考し、合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名（28頁【注１】参照） 国　：国 地歴：世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 公民：倫・政経　　から１ 数　：数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 理　：物，化，生，地学から２ 外　：英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕
その他	⑴　任意で提出を求めるものについて 主な提出書類の「B 任意で提出を求めるもの」については、参考として用いることがあります。参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、提出することが可能です。提出方法等の詳細は募集要項において確認してください。

Ⅵ　その他の選抜

1．私費外国人留学生入試

私費外国人留学生として本学への入学を志願する者に対して、大学入学共通テストを免除し、一般の入学試験とは別に入学試験を実施します。

詳細は、９月下旬発表予定の「2023年度名古屋大学私費外国人留学生募集要項」を参照してください。

1）実施学部

全学部

2）募集人員

全学部　若干名

3）出願資格・要件

次の⑴の出願資格を有し、かつ、⑵の要件を満たす者

⑴　出願資格

次の①及び②に該当する者

①　日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）

②　次のいずれかに該当する者

ア　外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年３月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

ウ　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

エ　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

オ　グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を有する者で、各学部・学科が指定する科目数、科目の種類及び評価を満たす者

学部・学科等	科　目　数 （A レベル試験）	指　定　科　目	評　　価
・文学部	１科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・教育学部	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・法学部	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・経済学部	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・情報学部	１科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・理学部	３科目以上	数学及び理科に関する科目（物理、化学、生物、地学のうちからいずれか２科目）の計３科目を含むこと。	合格（E 評価以上）
・医学部（医学科）	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・医学部（保健学科）	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・工学部	３科目以上	なし	合格（E 評価以上）
・農学部	２科目以上	物理、化学、生物のうちからいずれか２科目を含むこと。	合格（E 評価以上）

カ　文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

キ　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認めた者で、2023年３月31日までに18歳に達する者

（上記「キ」により出願しようとする者は、2022年10月３日（月）から10月28日（金）までに、教育推進部入試課（裏表紙参照）に申し出て、所定の申請手続きを行う必要があります。）

【注】１．上記出願資格の「外国において、学校教育における12年の課程」には、日本の教育課程による期間も含まれますが、高等学校又は高等学校に対応する学校の課程を卒業（修了）した者及び2023年３月31日までに卒業（修了）する見込みの者は、出願が認められません。なお、不明な点は教育推進部入試課（裏表紙参照）まで照会してください。

【注】２．上記アの「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は次のものが含まれます。

・外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、2023年３月31日までに18歳に達する者

・外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者

・外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者

・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者

・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者

⑵　要件

次の①及び②を満たす者

①　独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の科目のうち本学が指定した下記の科目を受験し、次項の要件にある得点を取得した者。

学部（学科）	受　験　科　目	要　　件
・文学部 ・教育学部 ・法学部 ・経済学部	日本語、総合科目、 数学コース１	日本語（読解、聴解、聴読解）：220点以上 総合科目・数学コース１：265点以上
・情報学部 （人間･社会情報学科）	日本語、総合科目、 数学コース１	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：300点以上 総合科目・数学コース１：265点以上

学部（学科）	受　験　科　目	要　　件
・情報学部 （自然情報学科）	日本語、理科(物理、化学、生物から２科目選択)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：300点以上 理科・数学コース２：265点以上
・情報学部 （コンピュータ科学科）	日本語、理科（物理１科目及び「化学、生物」から１科目選択の合計２科目)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：300点以上 理科・数学コース２：265点以上
・理学部	日本語、理科(物理、化学、生物から２科目選択)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：330点以上 理科・数学コース２：310点以上
・医学部 （医学科）	日本語、理科(物理、化学、生物から２科目選択)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：360点以上 理科・数学コース２：320点以上
・医学部 （保健学科）	日本語、理科(物理、化学、生物から２科目選択)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：300点以上 理科・数学コース２：265点以上
・工学部	日本語、理科(物理、化学)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：300点以上 理科・数学コース２：265点以上
・農学部	日本語、理科(物理、化学、生物から２科目選択)、数学コース２	日本語(記述、読解、聴解、聴読解)：300点以上 理科・数学コース２：300点以上

【注】受験科目の出題言語は、日本語を選択し受験してください。

＊「日本留学試験」についての照会は、下記に問い合わせてください。

日本留学試験受付センター

TEL　0570-55-0585（海外からは、045-620-7243）

E-mail　eju@sdcj.co.jp

②　TOEFL 又は IELTS（Academic Module）を出願前２年以内に受験し、下記の学部（学科）が指定したいずれかの得点を取得した者

学部（学科）	要　　件
・文学部 ・法学部	TOEFL-iBT　61点以上 IELTS　5.5以上
・教育学部 ・情報学部 ・医学部（保健学科）	TOEFL-iBT　61点以上
・経済学部 ・工学部	TOEFL-iBT　71点以上
・理学部	TOEFL-iBT　71点以上 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト　53点以上 IELTS　6.0以上
・医学部（医学科）	TOEFL-iBT　90点以上
・農学部	TOEFL-iBT　61点以上 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト　46点以上

【注】１．TOEFL を受験する場合は、「Institutional Score Report（又は Official Score Report)」を ETS から本学へ送付する手続きを必ず行ってください。なお、「Institutional Score Report（又は Official Score Report)」が出願期間最終日までに届かない場合は、書類不備のため出願を受け付

けません。

本学の TOEFL における DI コード（Designated Institution Code）は「**0312**」です。また、TOEFL-ITP のスコアは利用できません。

＊出願期間直前の10月･11月は、ETS に「Institutional Score Report（又は Official Score Report）」の発行手続きをしても、本学に届くまで２ヶ月以上の時間がかかる場合があるため、遅くとも出願の２ヶ月以上前までに、受験のうえ発行手続きを行ってください。
＊工学部及び農学部を除き「MyBest スコア」を利用します。
＊「TOEFL iBT Home Edition」を「TOEFL iBT」と同様に取り扱います。

【注】２．IELTS（Academic Module）を受験する場合は、成績証明書（Test Report Form）の原本をテスト実施機関から大学へ送付する手続きを必ず行ってください。なお、成績証明書（Test Report Form）が出願期間最終日までに届かない場合は、書類不備のため出願を受け付けできません。また、テスト実施機関から送付される電子証明書は無効です。

４）選抜方法等

日本留学試験、英語検定試験（TOEFL 又は IELTS）及び本学が実施する入学試験（学部・学科ごとに異なる。）並びに出願書類により総合的に選考して合格者を決定します。

５）選抜日程

インターネット出願登録及び検定料納入
2022年12月16日（金）～2023年１月４日（水）
↓
出 願 期 間　2022年12月23日（金）～ 2023年１月５日（木）　※郵便で提出する出願書類の受理期間
↓
試　験　日　2023年１月31日（火）または２月１日（水）
↓
合格者発表　2023年２月16日（木）
↓
入 学 手 続　2023年３月１日（水）予定 ～ ３月15日（水）

６）出願に必要な書類

詳細は、９月下旬発表予定の「2023年度名古屋大学私費外国人留学生募集要項」を参照してください。

募集要項は、本学ホームページ「受験生応援サイト」よりダウンロードしてください。（冊子での発行･配付は行いません）

▶名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ／ NEWS〕
https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/

2．国際プログラム群学部学生入試（10月入学）

名古屋大学国際プログラム群（英語による教育で学位が取得できる教育プログラム）の学部学生（外国人留学生及び帰国子女等）の入試を実施します。

1）プログラム（実施学部）

自動車工学プログラム（工学部）、物理系プログラム（理学部）、化学系プログラム（理学部、工学部）、生物系プログラム（理学部、農学部）、国際社会科学プログラム（法学部、経済学部）、
「アジアの中の日本文化」プログラム（文学部）
※プログラム単位で募集します。

2）募集人員

全プログラム　若干名

3）出願資格等

出願資格・要件、選抜基準、出願期間及び合格発表日については、2023年度募集要項で公表します。
名古屋大学国際プログラム群のホームページ（https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/）で確認してください。

4）選抜方法等

学力や学力以外の様々な項目に基づき、総合的に行います。

Ⅶ　出願に当たっての留意事項

1．併願等

⑴　本学を含めた国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一つの大学・学部です。

⑵　学校推薦型選抜で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般選抜に出願することができます。なお、本学の一般選抜を受験する場合は、大学入学共通テストを受験の上、別途出願手続を行ってください。

⑶　本学の前期日程に出願する者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学･学部を除く。以下同じ。）の前期日程には出願することができません。また，本学の後期日程に出願する場合も他の国公立大学・学部の後期日程には出願することができません。

※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

⑷　本学の前期日程で試験を実施する全学部と後期日程で試験を実施する医学部医学科との併願を認めます。

2．高等学校等の進路指導ご担当の方々へ

■調査書

学校推薦型選抜及び一般選抜において、学習成績概評がＡに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄にⒶと標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。

■推薦書

学校推薦型選抜における推薦書は、当該生徒の知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などの評価を踏まえて作成してください。また、努力を要する点などがあれば記載してください。

3．受験上の配慮を必要とする入学志願者へ

病気、負傷、障害のある者等で、受験上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下３点の書類を下表の照会先へ郵送で提出してください。①と③の様式は本学の受験生応援サイト〔入試情報を知りたい（学部入試)〕よりダウンロードして使用ください。(https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/)

①【様式１】出願予定の入試種別、志望学部･学科（専攻)、病気、負傷、障害等の状況、受験上の配慮を希望する事項等

②病気、負傷、障害等に関する医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）

③【様式２】出身学校関係者の添書（学校における修学状況及び学修上の配慮状況等）

なお、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、併せて大学入試センターから交付される「受験上の配慮事項決定通知書」の写しを提出してください。

また、入学後の修学に関する事前相談は、アビリティ支援センター（https://www.gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/osd/）のサイトを参照の上、お問い合わせください。

入試種別	照会期限	照会先
・一般選抜（前期日程、後期日程） ・大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 （教育、法、経済、情報、理、医、工、農学部）	令和４年12月16日（金） 【注１】	裏表紙の照会先一覧参照
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜 （文学部）	令和４年９月26日（月）	
私費外国人留学生入試	令和４年11月28日（月）	

【注１】 視覚・聴覚障害、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、大学入学共通テストにおいて点字解答及び代筆解答を希望する者のうち、本学へ出願する者については、令和４年９月末日までに上記と同様の書類を提出し、相談してください。

※国際プログラム群学部学生入試については、該当の募集要項で確認してください。

Ⅷ　令和７年度以降の入学者選抜方法について

令和７年度以降の入学者選抜について、以下のとおり実施しますので、お知らせいたします。

変更等があり次第、名古屋大学 受験生応援サイトの〔入試に関するお知らせ／ NEWS〕（https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/）に公表します。

なお、国際プログラム群学部学生入試（10月入学）における入学者選抜方法の変更等は、ホームページでご確認ください。（https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/）

●大学入学共通テストの利用教科・科目について

高等学校等における新学習指導要領への移行を受け、令和７年度大学入学共通テスト（令和７年１月実施）から新学習指導要領に対応した出題教科・科目に変更されることに伴い、本学の利用教科・科目については以下のとおりとします。

なお、各学部・学科の受験を要する教科・科目選択の方法等については、令和４年度中に改めて公表する予定です。

教　科	科　　目
国　　語	「国語」
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公　　民	「公共、政治・経済」、「公共、倫理」
数　　学	「数学Ⅰ、数学 A」と「数学Ⅱ、数学 B、数学 C」
理　　科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」
外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」
情　　報	「情報Ⅰ」

参　考

1．募集要項の公表時期

冊子での発行・配付はしませんので、次のサイトからダウンロードしてください。

名古屋大学 受験生応援サイトの〔入試情報を知りたい〕
→ https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/

○大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜学生募集要項（文学部）→７月中旬（予定）
○私費外国人留学生募集要項→９月下旬（予定）
○一般選抜、学校推薦型選抜学生募集要項→11月下旬（予定）

（前期日程：全学部
後期日程：医学部医学科
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜
（教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部））

○国際プログラム群学部学生募集要項→９月上旬（予定）
名古屋大学国際プログラム群のホームページ（https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/）からダウンロードしてください。

2．大学案内及び学部紹介冊子の請求方法

○　以下の『モバっちょ』から請求してください。
携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求できます。

https://djc-mb.jp/nagoya-u/

【料金の支払い方法】
①請求時払い
携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。（別途手数料が50円必要です。）
※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。
②コンビニ後払い
資料到着後、コンビニでお支払いください。（別途手数料が126円必要です。）

大学案内《GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2023》は、
令和４年11月30日資料請求分（予定）まで、発送料無料でお届けします。

■　上記請求方法についての問合せ先
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
TEL．050－3540－5005（平日10：00～18：00）

3．令和４年度　名古屋大学入学試験　志願者・受験者・合格者数及び志願倍率一覧

学部・学科等			募集人員(総計)	学校推薦型選抜				一般選抜・前期日程				一般選抜・後期日程			
				志願者	受験者	合格者	志願倍率	志願者	受験者	合格者	志願倍率	志願者	受験者	合格者	志願倍率
文学部			125	50	31	15	3.3	236	234	111	2.1	－	－	－	－
教育学部			65	27	20	11	2.7	184	174	59	3.3	－	－	－	－
法学部			150	108	53	45	2.4	274	231	106	2.6	－	－	－	－
経済学部			205	87	87	40	2.2	479	438	173	2.9	－	－	－	－
情報学部	自然情報学科		38	19	12	8	2.4	67	57	29	2.2	－	－	－	－
	人間･社会情報学科		38	27	12	8	3.4	90	81	32	3.0	－	－	－	－
	コンピュータ科学科		59	30	9	6	5.0	108	103	58	2.0	－	－	－	－
	小計		135	76	33	22	3.5	265	241	119	2.3	－	－	－	－
理学部			270	122	76	50	2.4	576	524	229	2.6	－	－	－	－
医学部	医学科		107	17	17	12	1.4	150	130	95	1.7	38	8	5	7.6
	保健学科	看護学専攻	80	56	48	39	1.6	119	92	46	2.6	－	－	－	－
		放射線技術科学専攻	40	23	17	11	2.3	75	67	31	2.5	－	－	－	－
		検査技術科学専攻	40	25	22	15	1.7	71	63	26	2.8	－	－	－	－
		理学療法学専攻	20	17	17	9	2.4	34	25	13	2.6	－	－	－	－
		作業療法学専攻	20	7	7	6	1.0	32	25	19	2.5	－	－	－	－
		計	200	128	111	80	1.7	331	272	135	2.6	－	－	－	－
	小計		307	145	128	92	1.7	481	402	230	2.2	38	8	5	7.6
工学部	化学生命工学科		99	20	18	9	2.2	190	181	92	2.1	－	－	－	－
	物理工学科		83	12	12	8	1.5	185	180	77	2.5	－	－	－	－
	マテリアル工学科		110	23	17	11	2.1	177	168	104	1.8	－	－	－	－
	電気電子情報工学科		118	27	17	11	2.5	362	351	108	3.4	－	－	－	－
	機械･航空宇宙工学科		150	46	25	15	3.1	374	351	138	2.8	－	－	－	－
	エネルギー理工学科		40	5	5	3	1.3	53	49	39	1.5	－	－	－	－
	環境土木･建築学科	環境土木工学プログラム	80	7	7	4	1.8	165	160	76	2.3	－	－	－	－
		建築学プログラム		15	12	4	3.8								
	小計		680	155	113	65	2.3	1,506	1,440	634	2.5	－	－	－	－
農学部	生物環境科学科		35	16	16	10	2.0	54	44	27	2.0	－	－	－	－
	資源生物科学科		55	42	42	12	3.5	89	78	45	2.1	－	－	－	－
	応用生命科学科		80	52	52	15	3.7	195	178	68	3.0	－	－	－	－
	小計		170	110	110	37	3.2	338	300	140	2.5	－	－	－	－
合計			2,107	880	651	377	2.4	4,339	3,984	1,801	2.5	38	8	5	7.6

【注】(1) 学校推薦型選抜の受験者には、第1次選考での不合格者は含みません。
(2) 表中の志願倍率は「第1志望の志願者／試験種別の募集人員」で算出してあります。

4．令和４年度　名古屋大学入学試験　合格者成績

■一般選抜　前期日程

※合格者成績は得点率で示しています。

区分			大学入学共通テスト得点		個別試験得点		総合得点（共通テストと個別試験の合計点）			
			満点	合格者成績（平均得点率：%）	満点	合格者成績（平均得点率：%）	満点	合格者成績（得点率：%）		
								最高	最低	平均
文学部			900	77.13	1,200	62.50	2,100	79.05	64.14	68.77
教育学部			900	74.30	1,800	63.99	2,700	77.33	61.59	67.42
法学部			900	75.75	600	58.34	1,500	78.40	64.53	68.82
経済学部			900	75.10	1,500	65.70	2,400	79.08	64.79	69.23
情報学部	自然情報学科		900	76.33	1,100	57.79	2,000	74.95	61.25	66.13
	人間・社会情報学科		900	76.72	1,100	63.11	2,000	79.80	63.65	69.39
	コンピュータ科学科		900	80.49	1,300	62.41	2,200	80.32	63.05	69.81
理学部			900	74.95	1,450	59.69	2,350	75.57	60.55	65.53
医学部	医学科		900	85.30	1,650	71.61	2,550	89.76	70.86	76.44
	保健学科	看護学専攻	900	68.23	1,650	49.87	2,550	66.04	50.67	56.13
		放射線技術科学専攻	900	68.41	1,650	50.43	2,550	64.43	51.65	56.86
		検査技術科学専攻	900	67.91	1,650	49.76	2,550	62.24	50.98	56.16
		理学療法学専攻	900	69.16	1,650	54.03	2,550	66.63	56.12	59.46
		作業療法学専攻	900	65.26	1,650	44.73	2,550	55.73	48.51	51.94
工学部	化学生命工学科		600	74.02	1,300	56.84	1,900	72.32	57.95	62.19
	物理工学科		600	72.88	1,300	56.46	1,900	70.32	59.21	61.64
	マテリアル工学科		600	73.06	1,300	54.28	1,900	71.74	56.63	60.18
	電気電子情報工学科		600	76.51	1,300	60.61	1,900	79.84	61.58	65.69
	機械・航空宇宙工学科		600	77.05	1,300	61.46	1,900	82.05	61.68	66.36
	エネルギー理工学科		600	71.63	1,300	54.68	1,900	70.00	56.74	60.04
	環境土木・建築学科		600	75.03	1,300	56.54	1,900	73.53	58.26	62.48
農学部	生物環境科学科		900	73.05	1,550	55.08	2,450	70.73	57.88	61.72
	資源生物科学科		900	72.86	1,550	55.35	2,450	72.49	58.12	61.78
	応用生命科学科		900	73.78	1,550	57.57	2,450	79.84	59.59	63.64

■学校推薦型選抜

区分			合格者成績（平均得点率：%）
教育学部			75.58
法学部			76.37
経済学部			77.56
情報学部	自然情報学科		78.97
	人間・社会情報学科		79.96
	コンピュータ科学科		80.98
理学部			76.12
医学部	医学科		81.86
	保健学科	看護学専攻	68.03
		放射線技術科学専攻	66.47
		検査技術科学専攻	67.72
		理学療法学専攻	69.05
		作業療法学専攻	67.28
工学部	化学生命工学科		76.53
	物理工学科		70.08
	マテリアル工学科		74.30
	電気電子情報工学科		76.19
	機械・航空宇宙工学科		78.26
	エネルギー理工学科		—
	環境土木・建築学科	環境土木工学プログラム	—
		建築学プログラム	—
農学部	生物環境科学科		74.08
	資源生物科学科		76.53
	応用生命科学科		76.93

【一般選抜：注】

⑴原則として、合格者が５名未満の入試区分に関しては、合格者成績の公開を行いません。
⑵合格発表時の得点に基づき作成しています。
⑶総合成績（大学入学共通テストと個別試験の合計点）は、個別試験の選択科目の得点調整を行った上での成績となっています。
⑷工学部及び農学部の合格者成績は、高得点者選抜を除く合格者の成績に基づきます。
⑸医学部医学科の後期日程試験は試験成績の開示は行いません。
⑹合格者成績には、医学部保健学科では第２志望専攻の合格者、工学部と農学部では第２志望学科の合格者を含んでいます。
⑺合格者成績には、追試験の合格者を含んでいません。

【学校推薦型選抜：注】

⑴原則として、合格者が５名未満の入試区分に関しては、合格者成績の公開を行いません。
⑵合格発表時の得点に基づき作成しています。
⑶合格者の「大学入学共通テスト」の得点率を示しています。

5．令和５年度（2023年度） 学部入学試験 主要日程

	一般選抜		学校推薦型選抜		
	前期日程（全学部）	後期日程（医学部医学科）	大学入学共通テストを課す（文学部以外の学部）	大学入学共通テストを課さない（文学部）	私費外国人留学生入試
掲載ページ	P.19	P.19	P.33	P.33	P.48
6月					
7月				「文学部 学校推薦型選抜学生募集要項」発表（７月中旬）	
8月					
9月					「私費外国人留学生募集要項」発表（９月下旬）
10月					
11月	「一般選抜学生募集要項」発表（11月下旬）		「学校推薦型選抜学生募集要項」発表（11月下旬）	出願期間（11/1～7） 試験日（11/25）※第一次選考合格者	
12月				最終合格発表（12/8）	出願期間（12/23～1/5）
令和５年１月	大学入学共通テスト（1/14、15） 出願期間（1/23～2/3） 大学入学共通テスト追試験（1/28、29）		出願期間（1/17～20）		試験日（1/31 または 2/1）
２月	試験日（2/25、26）※医学部医学科は2/25～27		試験日（2/12 または 2/13）※第一次選考合格者 最終合格発表（2/14） 入学手続（～2/20）		合格発表（2/16）
３月	合格発表（3/9） 入学手続（～3/15）	試験日（3/12） 合格発表（3/21） 入学手続（～3/25）			入学手続（～3/15）
４月	入 学 式（４月上旬）				

※上記の主要日程は「選抜要項」発行時の予定です。詳細は「募集要項」で、また最新の情報は本学ホームページで確認してください。
※国際プログラム群学部学生入試の日程は、名古屋大学国際プログラム群のホームページ（P.49参照）で確認してください。

照会先一覧

1．一般選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入試

入学試験に関する問い合わせは、下記において取り扱います。

受付は、月曜日から金曜日　9：00～17：00（祝日、8月15日～19日、12月29日～1月3日を除く）

入試種別	照会先
一般選抜（前期日程、後期日程） 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（教育、法、経済、情報、理、医、工、農学部） 私費外国人留学生入試	〒464-8601　名古屋市千種区不老町 D4-4（100） 名古屋大学 教育推進部入試課 TEL：052-789-5765 E-mail：nyuusi@adm.nagoya-u.ac.jp
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（文学部）	〒464-8601　名古屋市千種区不老町 B4-4（700） 名古屋大学 文学部 入試担当 TEL：052-789-2207 E-mail：hum@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ホームページ
https://www.nagoya-u.ac.jp/

名古屋大学　受験生応援サイト
https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/

▶最新情報は〔入試に関するお知らせ／NEWS〕へ
▶入試に関する情報は〔入試情報が知りたい〕へ

大学情報センター ウェブサイト（スマホ・携帯電話でアクセス可）
https://daigakujc.jp/nagoya-u/

▶本学のイベント情報（高校生対象）はこちらを参照ください。

2．国際プログラム群学部学生入試

〒464-8601　名古屋市千種区不老町
名古屋大学　国際入試係　国際アドミッションオフィス
E-mail：apply@g30.nagoya-u.ac.jp　　TEL：81-52-747-6556

本試験に関する照会は、照会者本人のメールアドレス・氏名等を明記し、国際アドミッションオフィスにお問い合わせください。

ホームページ（https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/）